大正六年四月三日　THE KEIJO NIPPO　(火曜日)　(明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可)　(年中無休刊)

京城日報

二日夕刊

本紙定價 [illegible]　廣告料 [illegible]

發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

露國の形勢

▲哈市警察文書の調査

行政執行委員會は哈爾賓憲兵警察の一切の公文書を調査すべく辯護士コスロフスキー氏を委員長として嚴重に調査すべしと(哈爾賓特電)

▲陸相に故國救主の尊號

露國陸軍大臣グーチコフ氏は數日前リガ市を視察したるに市民は非常の歡喜を以て氏を歡迎し故國の救主、國民大臣等の尊號を呈し居れりと(哈爾賓特電)

▲蒙古外相の言明

蒙古外務大臣は政府を代表し庫倫駐在露國公使に對し新政府の確立に依り露支兩國の親睦更に一層鞏固となるべしと言明せり(長春特電)

○米國火蓋を切る可し

こは國民一般の疑はさる所

華盛頓來電＝四月二日の米國臨時議會開かるゝ以前の最後の閣議開催せられ席上閣員等は開戰準備の爲め必要なる措置を執りたる旨報告に及びたるが既に爲され得る限りの手段を盡したるを見るべしベートマン、ホルウエッヒ氏の演說に對する切てもの期待も最早空賴となれる今日米國が愈々火蓋を切る可きは既に一般に疑はざる所なり(紐育電報)

○段總理辭意を洩す

段總理は外交問題に就き不平あり辭意を洩らせり(上海電報)

○重要なる七國公使會議

三月三十一日佛蘭西公使館に開かれたる協商七國公使會議は支那が戰國團に加入したる場合に支那側より申出たる財政上の援助に就き如何なる方針を執るべきやの具體的案を協議し各國公使共に自國の立場より關稅改正及び償金延期等に就き意見を述べ其の結果を各本國政府に打電する事とし散會したり此の會議は頗る重要のものと目され居れり(北京特電)

○獨社會黨豫算反對

獨逸社會黨は戰時追加豫算に關し反對を表明せり(倫敦電報)

○聯合軍大々的攻勢か

英軍アラス北方より退却

獨逸公報に依れば、英軍はアラスの北方に於て獨軍の爲めに擊退せられたりと又聯合軍はエーヌ、マルヌ兩河間に於て大々的攻勢を執るべく目下準備中なるを斷言せり(紐育電報)

○朝鮮人勞働者

歐露行

東淸鐵道各沿線に居住せる朝鮮人勞働者千五百名は歐露方面に雇はれ三月廿九日より五百名宛連日出發せり其の賃銀は一箇月七十五留の契約にて勞働期間は六箇月なりと(長春特電)

○黑龍州知事

陸相より召電

黑龍江州軍務知事ホゴンドコフ將軍は陸相グチコフ氏の召電に接したる氏は同次官に任命せらるべし(長春特電)

○露貨稍強氣配

二日の露貨相場は百八十三圓五十錢にして稍強氣配を呈せり(長春特電)

○德富氏渡鮮

貴族院議員德富猪一郎氏は一日午後四時出發京城へ直行せり(東京特電)

○小原長官歸期

支那滿洲視察中なりし農商工部長官小原新三氏は三日午後五時十分南大門驛著列車にて歸任すべし(元山特電)

○佐々木長官歸任

來釜中の佐々木慶南道長官は二日午前十時三十分發列車にて歸任せり(釜山特電)

○慶南米檢主事

元慶尙南道米穀改良組合理事木下方三氏は一日附を以て慶尙南道米穀檢査所主事に任命せられたり(釜山特電)

◎總督歸京

南鮮六道巡閱中の長谷川總督宇佐美內務部長官釜尾海軍武官齋藤副官神田秘書官藤波通譯官一行は豫報の如く二日午前九時大邱發臨時特別汽車にて午後三時五十分南大門驛著歸京直ちに馬車にて官邸へ入れり

◎總督官邸招宴

山縣政務總監は總督不在に就き總督に代り二日午後零時三十分より總督官邸に於て支那貴賓王交通部次長同隨員平井顧問等一行二十餘名並に富總領事、黃副領事、孫、陳兩隨習領事等を招待し鄭重なる午餐會を開けり總督府側よりは大屋鐵道局長、官久水外事課長、高橋武官、荻田庶務課長、和田總務課長、安藤參事官、稻垣、加藤兩課長、岡本技師、矢野遞信課長、豐永中央試驗所長等列席し淸觀を盡し同二時散會したり

◎支那貴賓動靜

一日夜入京朝鮮ホテルに投宿滯在中なる支那貴賓王交通次長平井顧問等一行廿餘名は支那總領事館陳隨習領事等と共に二日午前十時總督府に山縣政務總監を訪問して敬意を表し夫より昌德宮交通館等を視察し午後は別項總督官邸の招宴に臨みたる上中央試驗所、昌德宮博物館等參觀午後七時よりは朝鮮銀行總裁代理三島理事の催に係る花月の招待會に臨めり

▲遞信局視察　滯在中の支那交通部官一行數名は本日午前中遞信局爲替貯金事務に關し視察調査する所ありたりと

▲高麗丸專用

日支鐵道連絡會議記念祝賀會に參列すべき王交通部次長以下廿一名及び同部顧問平井博士、同中山龍次氏等の一行は三日午後七時京城發列車にて釜山棧橋に下車し鐵道連絡船高麗丸に搭乘出發の筈なるが歸途は同船を特に神戶に廻航し來る十八日同一行を迎へ瀨戶內海を賞觀しつゝ本月二十日釜山に入港する筈なりと(釜山)

◎大屋長官東上

大屋鐵道局長官は東京に於て開催の日支連絡運輸會議に臨席の爲め三日より三週間の豫定を以て東京出張を命ぜられ三日午前八時三十分南大門發汽車にて支那交通次長一行と共に東上の筈

◎三日の記念植樹

三日は總督始政後第六回の神武天皇祭にて恒例の記念植樹日に相當するに就き總督政務總監以下高等官、職員家族、有志は同日午前十時より老人亭東方の裏山に於て植樹を爲し正午散會の豫定なるが本年の植付苗木はアカ松、黑松、檜の三種約六千五百本なり又京畿道廳職員は漢江の西南仁川水源地附近に於て植樹し又濟生院附屬孤兒院の兒童も同院附近に同樣の植栽を行ふ筈なり

◎巡閱成績講評

警務總監部にては四月二日午前十時警務總監部京畿道警務部長を始め京城府內憲兵分隊長、京城、龍山、鍾路、昌德宮の三警察署長及び龍山、京城兩分隊長を招き各課長其他列席の上古海警務課長より過般事務の巡閱をなしたる成績の結果に就いて講評する所ありたり

◎御葬儀次第

來る五日御執行の故李埈公殿下御葬儀次第左の如し

▲御葬儀次第

一、五日午前十時　本邸御發靷
一、同十二時頃　墓所祭儀場御著
一、午後零時三十分　成殯奠を行ふ
　　此間弔砲(二十一發)
一、同零時四十分　勅使御使祭儀場御著
一、同一時　式典
　　此間弔銃齊發(三回)
一、同　六時　渼芹洞(西大門外)に於て返虞式を行ふ

▲祭儀場御次第

(一)御著席順
一、喪主、御親戚、一般會葬員順次著席
一、勅任官及貴族、親任は順次著席
一、兩宮若宮御代拜李堈公殿下順次御著席
一、勅使、皇后陛下御使、各宮殿下御代御使御著席

(二)御燒香順
一、勅使、皇后陛下御使、各宮殿下御代御使、順次御燒香御拜禮
一、喪主李王殿下、李太王殿下、王世子殿下御代拜李堈公殿下順次御燒香御拜禮
一、總督、親任官、親戚總代、勅任官及び貴族一般會葬者順次燒香拜禮

▲注意事項
一、勅使、皇后陛下御使祭儀場御著御燒香並に御退出の際は總員起立脫帽のこと
二、喪主は慣例の喪服を著せらるゝこと
行列員は
(1)服制ある者は制服に喪章を附し其の他は燕尾服若は「フロックコート」(高帽)に各章を附すること
(2)喪服著用のこと
(3)公附武官及び勳章捧持武官は正裝喪章を附すること
係員は行列員に準す
(參考)　會葬員文官貴族は大禮服、警察官は正服、陸軍々人は正裝、海軍々人は正服何れも左腕に喪章を附す
三、會葬者は當日正午迄に式場に參集せらるゝ事
四、會葬者は式場受付に名刺を差出さるゝ事
五、乘用の車馬等は所定の場所に置かるゝこと
六、式場に在りては靜肅を守り所定の順序に依り燒香拜禮訖りて退出せらるゝこと

▲千代田艦入港

旅順要港部所屬千代田艦は五日執行さる可き故李埈公御葬儀の爲め一日午後十時旅順發二日午後二時仁川港に入港せり艦長は海軍中佐中川寬氏にして乘組員將校二十一名准士官六名下士卒二百八十一名なりと尙右葬儀當日には將校全部下士卒半數上陸隊を以て入京す可しと(仁川電話)

◎辭令

臨時土地調査局技手　船越升太
任土地調査局監査官(七等)

◎立花師團長出發　立花第十九師團長は師團長會議に臨席の爲め山崎參謀を隨へ一日午前發東上の途に就けり

◎永野署長移轉　京城鍾路警察署長永野警視は初音町より二日鍾路署長官舍に引移れり

◎燐寸會社好況

朝鮮燐寸株式會社發起人會は三十一日午後七時より仁川俱樂部に於て開催出席者は奧田、田中、美濃谷、淺野、白神、高木、丁、和田の諸氏にして席上和田書記長より大阪方面に於ける株式募集の經過に就き報告する處ありたる後株式割當に就き協議したるが其結果六千株は大阪方面に於て募集濟となり一萬株は發起人賛成人に於て引受け千株はプレミアム附として一般より募集する事とし證據金未拂者に對しては本月二十日迄に通知する筈なりと(仁川)

◎大阪方より提議

穀物大會決議に對し

全鮮穀物貿易業者大會を仁川港に催し對內貿易共通に關する一定の商習慣を定め以て在鮮商人の利益を保護す可く諸般の決議を爲したるが此の通知を受けたる大阪朝鮮貿易商同業組合輸入部同盟會にては直ちに鮮米品質改良に關する協議會を催し鮮內各同業組合に向け提議し來りたるが其の大要は鮮地各港同業組合の決議として當地との商取引に關し賣買主に歸す可き責任分界其他賣買契約履行の旨通知ありしが右は近時朝鮮に於ても輸出米に對し檢査行はれつゝ有りと雖も鮮米は關東西貢或は臺灣米と同樣品質乾燥斗量包裝等級を一定し其の等級銘柄を以て賣買行はるゝや否やの問題に就いては甚だ疑問にして僅々出に係る一部の玄米に只夾雜物のみに限定し僅に上下の三級に止まり出たる品質乾燥包裝は何等見る處無し加ふるに等級を分つと雖も夾雜物のみに依る等級なるを以て事實に於て品值の優劣甚敗今俄かに之れを改めんと爲すは容易の事に非すと思惟す就いては銘柄賣買の行はるゝ迄は適當の取引方法及び改良に就いても親しく會合の下に議究致し度きを以て組合代表者を派し集合地を定めて協議せば何等かの裨益する處ある可し云々

右に就き仁川穀物協會にては朝鮮に於ける米穀の品質改良は年々向上しつゝ有りと雖も實際の急務は調製の改良にあるを以て右の提議の眼目たる品質改良を期する爲めに集合する如きは時期尙早の感あるを以て此旨同盟會に回答を發したりと(仁川)

▲決議事項通知準備　仁川穀物協會にては去三月十、十一の兩日間開催の全鮮穀物貿易商大會に於ける決議に關し整理中の處旣に全部整理したるを以て近日中に取引關係地及び朝鮮內同業組合及び同業者に向け通知狀を發す可く目下準備中なり(仁川)

◎朝鮮新聞發賣禁止　四月二日發行朝鮮新聞第五千六百五十七號は治安妨害の廉を以て其筋より發賣及び頒布の禁止を命ぜられたり

◎東煙社長就任披露　此程東亞煙草株式會社々長に就任せし菅野盛次郎氏は去る三十一日夜入港連絡船にて來釜し就任披露の爲め釜山の官民數十名を一日午後六時より鳴戶本店に招待し盛宴を催したるが同氏は同夜十一時發列車にて釜山出發朝鮮各地を經て滿洲支那視察の途に就く筈なりと(釜山)

◎道長官歸晉　慶尙南道長官佐々木藤太郎氏は長谷川總督を南道にて見送り去る三十一日午後五時來釜一日午前十時三十分發列車にて鎭浦に赴き午後引返し同夜鳴戶本店に於て開催の東亞新社長菅野氏の披露宴に列席し二日午前十時三十分發列車にて歸晉の筈なり(釜山)

◎田村學士視察　渡支の途次釜山に滯在中なる田村鄕氏は一日午前東萊及び海雲臺を視察すべく出張したるが三日歸釜し四日午後六時より釜山商業會議所にて府廳主任の講演會に出席視察談を爲す由(釜山)

◎隊署長恒例會　二日午後一時より京畿道警務部に於て京城府內各隊署長會議恒例會を開き隈部警務部長統裁の下に協議せり

◎訂正　二日附朝刊電報欄「辭令」の中船越鑛之助は船越升太の誤りに付訂正す

竹添井々博士絕吟

政黨歌

天神肇國天孫嗣、萬世一系傳神器、誰盜大權弄威福、前有成廟後武衞、自從中興握大綱、親命家宰掌邦治、天語琅琅勅議員、對揚休命在討論、何事方今選咆哮、謂非政黨排宰臣、相位視爲政黨有、是蔑憲法併蔑君、彼言海外憲法國、借問黨外吾同胞、何由不得列宰職、黨人亦是編戶氓、選擧場裏爭輸贏、白晝乞憐頭叩地、暮夜買票心畏明、買去買來不惜費、票多偏賴鏡神貴、厚顏自稱代議士、欲代何人議何事、況入黨人援朋儕、遊說足跡徧遐陬、不是民選是黨選、中選輙爲政黨囚、眼中無國只有黨、黨議紛紛徒承旨、嗚呼黨人憲法非孟浪、海外列邦略似此、皇國由來國體殊、千古不容此主唱、何不去爲外邦民、何不往求外邦相

【仁川】▲船渠會社發起會　仁川船渠會社にては二日午前七時より仁川俱樂部に於て發起人會を開催し株式募集に關する件株式割當に關する件其他創立に關する件事に就き協議す可し▲商議員辭任　仁川商業會議所議員高津新二氏は今回京城に轉任なすに付き辭任方を屆出でたり

【木浦】▲賓科女學校開校期　當地賓科女學校は一日より開校の豫定にて一切の準備整ひ居れるも未だ其筋より認可の指令に接せざるを以て開校四五日延期せり▲小學校入學式　當地小學校入學式は今一日午前十時擧行入學兒童は男六十五名女五十三名計百十八名なり尙入學式終了後講堂に於て引續き學藝會開催し生徒父兄の參列者多く盛況なり▲穀物商協議　當地米穀商組合員は昨三十日午後二時公會堂に於て協議會を開催し內容組合員より仁川穀物移出商大會の經過報告あり木浦米穀同業組合組織に關する具體案に付協議せり▲千賀檢事へ記念品　群山支廳へ榮轉の千賀檢事赴任期は未定なるも同檢事は一般の送別會を固辭したるを以て官民有志發起となり記念品を贈呈する由

【元山】▲商議補缺選擧　元山商業會議所は目下評議員中內地人五名朝鮮人三名の缺員を生じ居れるを以て來る十三日會議所內に於て午前十時より午後三時までに右八名の補缺選擧を行ふ筈▲三校の入學式　新學期の改まると共に元山各學校に入學すべき兒童數は元山公立尋常高等小學校百八十六名同尋常小學校十八名(以上確定)元山公立賓科高等女學校二十名(豫定)にして尋常高等小學校及び尋常小學校は二日午前九時より入學式を擧行すべしと▲新舊檢事著發　去る二十八日附を以て鎭南浦支廳に轉任を命ぜられたる地方法院元山支廳檢事福岡德次郎氏は來る五日午前九時四十五分發列車にて赴任すべく同檢事の後任者たる檢事川澄淸太郎氏は四日入港の便船にて前任地咸興より來元の筈▲警察署長交迭　久しく元山警察署長として在勤中なりし神崎稼一氏は今回京畿道警務部詰を命ぜられ城津警察署長楠本茂作氏之が後任と決したるが神崎氏は近く後任署長の著任と共に事務引繼を完了の上赴任すべしと▲三氏の送別宴　今回榮轉の福岡檢事三田村判事神崎署長に對し村地府尹外四名の發起にて元山官民五十餘名は三日午後六時より力芳樓に於て送別宴を催す由▲元山灣內漁況　元山灣內に於ては漸く數日前より鰊の漁獲好況となり每日二三千尾宛の水揚を示しつゝありしが最近一兩日間天氣快晴のため忽ち同魚族の回游薄らげる模樣なり此外漁業は今尙概して不況を續け居れり▲幼稚園保育所　去る三十日を以て保育證書授與式を行ひ目下休園中の元山私立幼稚園は四月六日より園兒の保育を開始すべし▲聯合軍慰問金　過般來元山佐藤直太郎氏を總代とし取纏めつゝありし聯合國傷病兵罹災者慰問寄附金に對し元山に於ける寄附者は內地人卅二名朝鮮人十四名にして總額六十三圓に達せり

人事消息

▲菅野盛次郎氏(東亞煙草社長)　二日朝入京巴城館へ
▲石丸優三氏(慶北道事務官)　一日夜入京東京旅館へ
▲松元鶴熊氏(仁川警察署長)　二日朝退京
▲櫻井民次郎氏(平壤實業家)　同上
▲山本實英氏(東京電氣技務)　同上
▲岡崎鳴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭)　同上
▲山本好造氏(殖產農工銀行支配人)　同上
▲尾山尙治氏(久原技師)　同上
▲中村彥七郎氏(忠淸道)　同上
▲榛野貞氏(三菱技師)　同上
▲岩崎虎次郎氏(全州農工銀行支配人)▲森悟一氏(光州農工銀行支配人)　同上
▲松原朝鮮開教總監(西本願寺)　教務上の用向を帶びて二日夜出發京都本山へ

逐鹿夜話

▲逐鹿戰は一日々々と熾烈と爲つて來るので其處でも此處でも火花を散らし出す先づ其の最も面白かり相なのは金澤市であるが米澤市でも後藤內相の小林源藏君應援尾崎行雄西久保弘道君等の黑金君應援演說がある相な之れは大分見ものだらうイヤ聞きものだらう

▲隈部四郎君は十年振りで婿殿の[illegible]君に替り候補に立てたのだから少しは運動しても宜さ相なものだのに每日家に引籠つて居る仍で或人が婿殿の加勢を勸誘するとそれも然うだと早速承知し夜になると運動だと言つて出掛るが何處に行くか判らぬとは奇振だ

▲氣まぐれ候補者が簇出して居る中にも『千兩西雨の仏』には迷はぬわたしやあなたの氣に迷ふ「…」深夜遊里に彷徨する賣春婦すら此の如く叫ぶと數へて一票の無心を吹き掛ける候補者が富山縣に蹶起した而も夫れが緇衣の佛弟子だから振るつて居る佛恩報謝の心願はさることながら選擧民を賣春婦に擬らへて感動せしめんとする坊さん却々碎けたものだ道う云ふ脫線家があるから選擧界も大に賑ふ譯だ

▲此頃內地から來た人の話によると內地の方では從來總選擧と云へば何となく景氣づいて料理店なども賑はつたのだが本年は皆大に用心してか一向引立たず何處へ行つても選擧が濟みませぬではと悄げて居るとは是が本當で今迄が間違つて居たのだ

▲金杉英五郎君は平生殆ど講話會などに顏を出した事もないが候補になつてから大車輪の大勉強講話會も頻々に開かるゝし而も其れが蓄音機幻燈抔の大鳴物入で博士は每回乾度講演に現はれて「衞生思想の普及は平生にある傳染病が出來てから大騷ぎする抔は盜賊を捕つて繩を綯ふと同じだ」と何だか御自身の選擧運動を自身で評して居る樣にも聞ゆる

栗原露岩居士追悼會香語　後藤瑞岩

滅却心頭不會痛。心頭滅却痛痛等。閑憶起當年事。直到如今未休痛。

追悼露岩居士　今關天彭

不是神仙不是癡。心如老月勤如癡。消月落春空度。蝶恨花愁忽七年。

同　阿部無佛

滅却心頭痛痛喝。末後句猶新。七分情味三分俠。留得人間隨處春。洒脫身心塵外輕。飽諳世味入人情。回頭往事花如夢。把臂無由尋舊盟。

山海珍味百種を集めて 絢爛たる饗の膳＝光養麿君得度式、三門跡出揃ひ

♣**童借み式** 東本願寺法嗣の得度式は四月一日厳儀に執行された。本堂に於ける落飾式の前、童借み式と饗の御膳といふ珍らしい式が行はれた、兩式共に

器俗形 の名残りを惜しむ意味で、前者は大谷家での式、後者は宗祖親鸞聖人が、俗衣を脱ぎ捨て、青蓮院で落飾された古例に依るので、饗の御膳は悲喜の涙で就くのである。童借みは式前日なる三十一日午後一時、内事の花の間で

器道服 に三緒袈裟の兩門跡や、親鸞擬取り姿の兩裏方ばかり對座あつて、法嗣は紫亀甲浮線綾の差貫に紅梅色小葵の半尻を装束いて出られ、かたの如く祝事があつた

♣**饗の御膳** 晃影のまだ空に冴え残つて黎明のけはひも薄き四月一日の午前四時、大寢殿は北の間の上下二疊の厚疊の上に八藤紋錦の褥を敷き、金屏風を建てめぐらし左右に

器菊燈 を點じて設備全く整へば案内につれて、白小葵の直衣を召した法嗣が出られる、すると最初に素絹五條袈裟を装束うた寺務總長阿部恵水師が、白木三寶に金箔塗土器をのせて、引渡進献をする

器次で 監正部長春日圓城師は長柄の銚子、庶務部長龍山厳雄師はお加へ、教學部長關根仁應師は饗入、菓相續講局長月見覺了師は素麺饗を入りかはり立ちかはり

器捧げ て式三献が終ろ、かくて、饗の膳となり、本膳（阿部總長）より五の膳（月見局長）が漸次に運び出され、杯、湯、菓子が次ぎ次ぎに出て、式を全く終るに十二時間餘りを要した、この式中傳育係の太田祐師が介添をした。饗の膳は絢爛たる

器尺五 の三寶でそれには五色の大房と若松を四隅に立てた、金箔溜草花梅彩色に目覺むるばかり見事なもの、献立ては總て精進料理で山海の珍味佳肴七十一種を集めて香味とり〴〵に、まるで御縦で聞く

器淨土 の百味の飲食のやうであつた、これは係役の外僧俗共に誰一人陪席を許されない、然しそれでは餘りに素氣なからうとあつて、此の日の午後大寢殿の上段にあり調度の荘儀を飾つて

器一般 に觀せた。饗の膳が終ると午前八時、大寢殿から高廊下へかけてのお練りがあり、大師堂で正しき得度剃髪の式や、三門跡出揃ひで兩堂での式後の

器法要 が行はれた、此日本願寺附近は云ふ迄も無く京都市中は一方ならぬ賑ひを極めた（大阪特電）

總督府醫院構内 芝地の火事

一日午後三時五分頃京城總督府醫院構内北方の芝地より發火したるを醫院の傭人が發見し看守小使等が消防に努め芝原約四十坪及び小松二十本許りを燒失したるのみにて同四時鎮火せり多分鮮童等の火弄りより發火したるものならん

鮮人に尊ばれた儒者 朝鮮公使時代の竹添進一郎氏 通商條約締結＝國分李王職次官談

竹添進一郎氏が始めて朝鮮公使として著任されたのは明治十六年一月であつたが此れより前竹添氏は明治十五年五六月頃まで天津の領事で居られたが同年九月辨理公使に進み

□**花房辨理公使の後**を襲ひ朝鮮公使に任ぜられたが恰も此の時朝鮮から大院君の變亂の謝罪使として大使朴泳孝侯副使金晩植氏の來朝に會し公使は其接伴係長として諸般の斡旋をされた朝鮮謝罪使の歸國と共に竹添氏も渡鮮就任される事と成つたそれが明治十五年の十二月末の事であつた朝鮮謝罪使と竹添公使の一行は御用船明治丸に乘組み神戸を解纜した予は其の年の

□**外國語學校を出て**通譯生として公使に隨ひ始めて朝鮮の地を踏んだのである故に竹添氏と予との因緣は極めて深く轉た感慨に堪へぬものがある一行を乘せた御用船明治丸は翌て十六年一月三日に仁川に著いた而し當時の仁川には一行を宿すべき家もなき寂寥たる一漁村に過ぎなかつたので直ちに京城に

□**飛脚を走らせて馬**或は駕を迎へに出さしめ一行は仁川に一泊し翌日富平郡邑内に一泊し日本兵の護衛隊も來て一月六日に漸く麻浦の渡から京城に入た其頃の公使館は今の花月の處に在つた公使は其後翌十七年十二月の變まで居つた此の變亂は氏の爲めにも甚を將來し氏も其の責を引いて歸來

□**全く官海と絶縁し**悠々自適の生涯を送つて居つた、竹添公使の在任中に日鮮兩國の間に始めて通商條約が締結されたこれより前兩國間には修好條約を締結してあつたが通商に關する條約は竹添公使が始めて締結したのである、猶公使の在任中、日本は米國及び英國を朝鮮に紹介し修好通商條約を締結せしめたが公使は此の間に在つて斡旋の勞を取られた、竹添氏は

□**一面に儒家として**支那人及び朝鮮人の間に鳴り渡つて居つた氏は晩年文學博士の學位を贈られたが支那朝鮮には夙くより氏の文名は知られて居つた竹添氏は肥後天草の産れで熊本の木下韡村先生の門に遊び井上毅、古荘嘉門と並び木門の三才と稱せられて居つた氏は經書百家に通じ詩文に巧みで有つただけでなく其の行蔵も亦高潔儒家たるに恥ぢざるものであり且つ事務の才にも長けて居つた天津領事時代其の學徳を以て

□**夙に李鴻章に信任**されて居つたが氏が北京から巴蜀を經て上海へ出た紀行及詩を集め『古人の棧の雲、峽の雨之れ是れを觀光』の語に因んで棧雲峽雨日記と名付けて公けにした其の文章の瑰麗は元より其詩悉く金玉の文字であつた氏の著書には此の外に猶『孟子論』あり之れ亦一新機軸を出したものである朝鮮公使として京城に著任したる頃は文名隆々として文字ある

□**朝鮮人は氏の著書**を讀まざる者なく又一度氏の音容に接しやうと希望して居つた者は頗る多かつた程で如何に氏が其の地位以外に内外の欽敬を享けて居つたかと云ふ事が判る、氏は朝鮮を引揚げたる後暫く無任處外交官として居られ其後官海と絶縁して閑雲野鶴を友として居られたが今や[illegible]にす誠に哀悼に堪へぬ次第である

砲煙彈雨の露都より ◇大革命の導火線はパン問題◇ ◇砲煙の裡に飜めく赤旗の影◇

＝露都ズナーメンスカヤホテルにて 小田柳翠＝

露都より申し上げ候。革命の大渦の裡より申し上げ候。露暦二月廿三日（三月八日）の正午當市のフキンランド停車場前に起りしパン問題は端なくも這回の大革命の導火線となり

◇**三月十一日まで約一週間に亘りて** 全市の各方面に砲聲轟き鮮血流れ全市砲煙彈雨修羅の巷と相成り候。其の間犠牲者實に數千人惨状實に眼もあてられぬ光景に御座候。小生の旅館ズナーメンスカヤ、ホテル並びに[illegible]君の投宿せるセウエルナーヤ、ホテルは何れもニコライスキー停車場前に在りて恰も革命軍策戦の中央部なりし事とて殷々たる砲聲の下小銃彈の屋根を掠むるもの夥だしく危險此の上もこれなく候ところ

◇**天祐なるかな遂に無事なるを得** たる次第に候。併しながら露都の旅館といふ旅館食料品店といふ食料品店は總て革命軍の爲めに糧食の徴發を命じられ〻際を以て小生等も二日間は殆んど絶食のうき眼に遭ひ申し候。されば一塊の黒パンを殆んど藥の如く大事に致し三人五人にて少しづゝ嚙りつゝ漸くに生命をつなぎ止め候は殆んど糧道を絶たれし籠城軍の感これあり候。然れども十二日夜既に假政府の出現を見るに至り

◇**市街の秩序は著々回復せられつゝ** あればこれよりは何とか落ちつくことと存じられ候。しかしこれも一時の小康に過ぎずと存じ人心恟々たる有様に御座候。（三月十五日發）

連累者 大阪に現はれん 淡路丸沈沒説流布事件の火の手

淡路丸沈沒に關する風説流布事件に就き大阪にも連累者現はるべき見込にて[illegible]一二の會社取調中なれば連累犯人の檢擧を見るやも知り難し（大阪特電）

京城高等女學校の入學式

喜色を滿面に浮べつゝ 京城高等女學校の入學式

京城高等女學校にては二日午前九時在校生の始業式を行ひたるが更に午後一時半より校内雨天體操場にて本年新入學者の入學式を行ひたり

◆**新入生** 百九十三名は各保護者に伴はれ是よりぞ高等普通教育を受くる身となれる喜びにいそ〳〵として登校したるが成田校長は先づ來會の保護者に對して簡單なる入學注意を爲し

◆**續いて** 新入生徒一同に對しては入學に對する心得、在學四箇年に於ける決心等の大略に渉つて訓示し、終つて新入生總代

◆**手簿の** 交付（一年級受持教員の詳細の注意ありて二時半式を終りたり

電車と肥料車の衝突 勞役囚二名負傷

京城西大門監獄太平洞出張所に收容中なる勞役囚十二名が二名宛一組となり荷車六臺に肥料を積み二名の看守が監督して三十一日午前十時頃竹添町三丁目巡査派出所附近の電車線路に添ひて荷車を運搬中折柄麻浦方面より進行し來れる京城電氣會社の百二號電車運轉手徐丙龍（三）が五臺の荷車をすれ〳〵にて通過したるに最後の一名は急に方向を轉換せんとしたる刹那荷車と電車は衝突するに至り荷車は支柱及び車輪を滅茶々々に破壊され件の車の囚人忠北堤川郡生れの朴在福（三九）は轅棒にて腰部を強壓され京畿道廣州郡退村面生れの朴敬賢（三）は傍の石垣に衝突して前頭部に深さ

▲**骨膜に達する** 重傷を負ひたる騒ぎに監獄署より驅付け兩名に應急手當を加へしが生命には別状なかるべく鍾路署より係員出張取調べしが電車は少く破損したるのみ也と

燕灸 高野山高祖相傳派岡本一信法師出張 京城本町三（鶴商場）於樓上廣間執行 ▲四月五日より十五日まで ▲毎日早朝より午後四時まで ▲灸點料 [illegible]

内國通運會社 元山支店燒く

元山停車場構内内國通運會社支店及び倉庫は二日午前一時火災に罹れり（元山電話）

鍾路署の非常召集 一日午後八時京城鍾路警察署管内堅志洞に強盗殺人事件勃發したりとの急報に接したる鍾路警察署にては即時當番巡査全部に對しては非常警戒に努めしめ一方非番巡査の非常召集を勵行したるに百六十五名の非番員は逸早く本署に集まり係警部指揮の下に夫れ〳〵臨急の手配をなし以て假裝犯人逮捕の演習を行ひたるが平素訓練の實地試演にして各警官共頗る敏捷に活動したり

讀者文藝（一等には五十錢二等以下の書籍券を呈す）

▽一口噺

甲「夫に別れ離さに放火した女があるネ」乙「ハヽー八百屋お七を逆に行つたナ」（一等） 龍山 お染

甲「名古屋で總相の自動車が電車に衝突したてネ」乙「大方憲政會の電車だつたらう」 龍岩浦 大石 劍牛

倅「お父さん太刀山が米國にいつたらなんとよぶでせう」父「サーベル山といふのです」 鎮南浦 梅屋 庄

乙「出火原因不明目下取調中とあつた」即事を見て頓吉「馬鹿だなア、火事の原因は火に決つてらあ」 京城 春茂

●春風會素謠會 [illegible]

募集規程 ▲用紙は[illegible]

懸賞 天 [illegible]

雑報

●**海産物暴落** 内地鮮魚類は[illegible]其他の關係より支那輸出の頓挫せると時局の發放も加はりたるもの如く最近各品共に著しく暴落に傾き初めたり

鰛鯡は十二貫建三圓五十錢 [illegible]

内外に暴落又鰊 [illegible]

●**鰊は次第に安し** [illegible] **函館市場** **大恐慌の襲せ模様** [illegible]

山梨の三十六圓 [illegible] **浦鹽物は二十五元** [illegible] **三十二三圓處** [illegible]

躊躇買 [illegible]

●**染料の其後** [illegible] **ベンゾール** [illegible] **約五圓方下引** [illegible] **柳絲** [illegible] **強調** [illegible]

●**洋藥の小高下** [illegible]

商況

債券現物特電（二日東京）

東京市債	六三、五〇
京城電氣	六二、〇〇
朝鮮銀行	一七六、〇〇
朝鮮瓦斯	一九、〇〇
南満鐵道	一三八、五〇

東京公債直取引（特電）

二日出來値 五分利	九六、五〇
四分	[illegible]
甲 五分	九六、二〇

深川在米特電

二日現在高	三三九、五七一
内地米	八一、七七
外米	[illegible]
計	一、七三〇、一七三

東京期米特電（二日後場）

	五月限
寄付	一七、二九
高値	一七、三〇
安値	一七、二〇
止め	一七、三〇

大阪株式

銘柄	拂込	三十一日後場	二日前場
宇治川水	五〇、〇〇	一七九、〇〇	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	—	—
東洋紡績	五〇、〇〇	—	—
合同紡績	五〇、〇〇	一三〇、五〇	—
鐘淵紡績	二五、〇〇	一八九、一〇	—
同上新株	五〇、〇〇	一九一、五〇	—
東洋精糖	五〇、〇〇	一七二、〇〇	—
大阪商船	五〇、〇〇	一三三、二〇	—
日本郵船	五〇、〇〇	一〇五、五〇	—
同上新株	五〇、〇〇	一〇三、〇〇	—
堂島米穀	五〇、〇〇	二六五、一〇	—
東京新株	二五、〇〇	三七、六〇	—
大阪株式	五〇、〇〇	[illegible]	—

大阪期米特電（二日前場）

當限寄付	一六、一〇
中限寄付	一六、四八
先限寄付	一六、九六
	め止

下關期米特電（二日前場 正米三十錢高）

	當限	中限	先限
寄付	一五、七七	一六、二八	一六、五四
高値	一五、七七	一六、二八	一六、五四
安値	一五、七二	一六、二八	一六、五二
止め	一五、七二	一六、二八	一六、五四

●**輸出不振の工業藥品類は** [illegible]

●**明太魚好氣配** 今期海産物は概して暴落傾向なるに反し明太魚は獨り幾分上向歩調を辿りつゝあり最近の**津浦入電は一圓高**を齎らし居れるが之れ**春取明太の不漁**なると品質好ろしからざるが爲めならん相場は上物二十六七圓春取二十四圓より二十四圓五十錢處なり

●**粕類の近況** [illegible]

●**和洋紙の其後** [illegible] **下り此頃は却て取引値** **朝鮮紙** [illegible]

●**パナ、増入** [illegible] **今般臺灣の直取引を** **約し毎月三十噸以上** **の移入** [illegible]

下關相場 **錢見當にて平三割方の廉價** **一貫七十** [illegible]

田中金六商店

田 金 田中金六商店 定期賣買の委託 現物一手仲介 電話 長 六二 五二 八番

京城正米

朝鮮一等白米（賞用）	十五圓五十錢
同 二等白米（賞用）	十五圓二十錢
同	十五圓[illegible]
平澤大豆	十一圓[illegible]
同 大豆	十圓九十錢
黄海大豆	十圓[illegible]

[illegible]

南大門の廻穀

平澤白米	一六五叺
[illegible]	[illegible]

京城雜穀

[illegible]

仁川現物市場

▲穀入津少なし ▲正米入津少なし 氣配は稍や高氣配を唱へ居れり

仁川期米

▲二日前場 **東京中十六圓八十錢** **大阪二節十六圓九十錢** **新甫十三圓〇九** **十錢の移り** **九十六錢さ四十八圓** **錢上鞘の入電に接した** [illegible]

仁川米豆取引所 二日の六月限

前場	平均値段
寄付	十三圓十九錢
高値	十三圓十五錢
安値	十三圓二十錢
止め	十三圓十八錢
出來高	[illegible]

限月	賣買取組高	前日と比較
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]

日 仁川米豆取引所仲買人 まるにち 仲買店 電話 二八三番

釜山穀物（一日）

▲正米（强保合） [illegible] ▲大豆 [illegible]

京城魚市場 生魚市場

[illegible]

▲**前途如何** [illegible] ▲**全能く賣る** [illegible] ▲**今の商内** [illegible] ▲**㊀の商内** [illegible] ▲**前場の手振** [illegible] ▲**期近の不勢に存外** [illegible] ▲**稍買氣を刺戟** [illegible] ▲**内地の大上鞘に** [illegible]

市場零聞

▲**新甫發會す** 天候晴 天今前 [illegible] ▲**十四錢上鞘** [illegible]

爆發藥を腹に捲附けて
内地人無慘なる最後を遂ぐ

去る三十日夕刻慶北金泉警察署邑内附近に當り轟然たる音響の聞ゆれば金泉憲兵分隊はこは唯事ならずとて取敢へず補助員を派し取調べ中某鮮人は南山公園内に内地人の慘死しをるを屆出でたれば直ちに公醫關直藏氏同伴臨檢したるに該公園の南方窪みの箇所に於て年齡三十五歲位の内地人勞働者がダイナマイトを腹に捲き附けて點火自殺を遂げ四肢滅裂となり何處の者とも判明せず纔かに殘れる顏面と洋服とにより土方風なるを推定さるゝのみ一先ず檢視の上面長に屍體を引渡し卅一日假埋葬をなしたるが其後金泉秋風嶺間鐵道改良工事に從事せる工夫石渡善次郎なるもの憲兵分隊に出頭し右自殺者は佐賀縣佐賀市松原町半山海雄と稱する自分の友人なれば死體の引取方を申出でたるが死因に就ては精確に知るを得されど半山は以前相當の生活をなしゐるものなりしが其後四十年頃より不如意となり終に工夫となり賭博及び梅毒等に惱まされ生き甲斐なき身を喞ちをりし由ダイナマイトの出所に就きては同身北鮮より持ち來たりし形跡ありと（大邱）

仁川神社
面目一新する

▲七十二間の玉垣を奉納 ▲社殿正面に鳥居の移轉

仁川神社では目下境内の風致樹の植栽道路の改修工事、鳥居の移轉等を行つて居るが近く

▲玉垣七十二間 を建てゝ境内の面目を一新するとの事である、此れに就いて聞く處に依れば、右玉垣及び工事費七千圓は奥田貞次郎氏及び庄野本居の肝煎りで朝鮮と取引關係を有する大阪の貿易商から奉納した者であるが神社では既に玉垣築造の準備として境内

▲入口の大鳥居 を社殿の正面に移す可く目下工事中で此れが出來上り次第鳥居の正面から一直線に濱町に通ずる道路を作り鳥居より左右十數間宛石の玉垣を建綾らす計畫であるから完成の曉は面目を一新して境内は一層

▲尊嚴を增す事 になるであらう、殊に從來神社の通路と八阪樓への道路が同じで有つた爲め聊か如何はしい感があつたが今度は上の道路は八阪樓の專用として下の道路に改修を加へる事になつたから一面には境内の神聖を保ち一面には濱町方面及び花町方面からの參拜者の便を計る事になるとの事である

春を訪ねて
仁川の海濱へ

春霞、紫に淡く濃く棚引けば杳渺たる水平線上に起伏する仁川港外の島山々は笑を含んで隱見し

◆浩蕩たる海に 行き交ふ白帆の數も模糊として定かならぬ樣は春ならで味ふ事の出來得ない海の眺めであり、情趣である、煙霞淡蕩たる四方の連山、綠煙ぶる木々の梢、に萌ね出る若草の野。

◆晴れ渡る郊外 なんど見る者聞く者一として、春の女神の慈惠の息吹に、歡び歌はぬ者はなき樣は實に春ならで懐しむ事の出來ない

◆自然の恩惠で ある、明日は神武天皇祭である、仁川府では恒例に依り月尾島に記念植樹を行ふ可く數日前から準備中であつたが愈々明日は午前十時頃から各官廳及び學校敎員生徒、府協議員、學校組合議員其他一般市民は月尾島の植樹地に至りニセアカシヤ

◆其他二千本餘 を植栽し茶菓の饗應を受けた後正午頃引揚げる事になつて居るが麗らかな祭日の一日を家族打連れて島に登り紫煙靉靆たる市街や、碧い海を

◆四方の連山の 美しい眺めを恣にする事の如何に樂しきかは說明する迄もない事であらう、更に仁川府附近の海濱を訪ひ、萬石洞に汐干狩し、各國公園日本公園に

◆桃山東山農場 等に春の日を逍ひ春を訪へば興趣盡きずして終日をいとも樂しく送る事が出來るであらう。

京城中學校の始業式
□柴崎校長の式場の訓示 □竹添先生雙殉行の詩

京城中學校の始業式は二日の午前九時から擧行。その前校庭に於ては新學年の集合隊形を定め、それから柴崎校長の

▽新學年 に關する訓示があつた。今日は學校に於ける元旦である。諸子はこれから己れを空しうして專心學業に奮勵せなければならぬ。諸子の弟とも見るべき新入學一年生は本日の午後から入學する。されば此の際今一層の

▽風規の 嚴肅を心得ねばならぬ……」と相襯

らすの軍隊式。次ぎに道回太田分敎室詰を命せられた

關本敎諭以下の告別式並に英語敎師ラッセル・フラントン氏の告別式、新任敎諭の挨拶があつて式を了つた。序に柴崎校長に竹添井

く先生の

▽逝去を 尋ねると先生の令孃は加納治五郎先生の夫人となられて居るが自分はよく知らぬ。しかし竹添先生の乃木將軍夫妻を追慕した雙殉行の詩は毎時本校生徒に朗吟させて居るがまことに立派な作だと思ひます。それは次の通り

▽戰雲城 を壓して城壞れんと欲す、腹背に敵を受けわが軍は敗る。聯隊旗は臣の部下なり、所謂の爲めに奪るは臣の罪大なり。巨砲千雷砲き、骨は碎け肉は飛び血雨飄し、二萬の子弟わが爲めに死す、われ何の面目ありて父兄に見はん。青山の駐蹕

▽朱闕に 遅り、麾國衣冠儼として列を成す。聖顏藹々として生歩遅し、低頭徐ろに揖りて曆ぶが如し。雨後一櫻臣の事終る、腹を刺し屍を横つ何ぞ從容たる。旁に蛾眉あり節廟して伏す、白刄三たび刎して纖手紅なり。道誠開く對じて瑞遊ぶ、剣を貫ぬ世を戒む情尤も急なり、骨々都て雙瞞より逝み

▽鬼哭し 神愴み天も亦泣く。嗚呼身を以て君に殉するに臣節堅し、生を舍て夫に從ふ婦道全し、忠勁貞烈長へに敗せず、萬古千秋櫻山に侍す——（二日午前十一時京城中學校にて）

樂しい入學式
△保護者の注意せねばならぬ事ども

四日は新入學生が始めて學校に通ふ日であるから今迄家庭の搖籃の中に育くまれて來た兒童は小な鞄を立つ時の樣な喜びに溢れて明日と言ふ日を待ち憧れてゐる、新入學の際は必ず母さんなり兄さんなりが同行して行く事や自分の名前を敎へて置く事などは府廳から保護者に向けて注意書を配布し且つ新聞紙に依つても報道せられたから一般が熟知の事であらうと思ふ愈々通學する事になると其後の心得は校長や受持敎師から保護者に注意する事になつてゐるが保護者は世際細心の注意を拂つて學校當事者の注意に基いて兒童を善導せねばならぬ殊に新入學の際は勵めて登校を喜ばせる樣に獎勵せねばならぬと某敎育家は語つた

滿洲視察寫眞帖（二）（奉天新市街）

◆本寫眞は滿鐵の經營にかゝる奉天停車場附近の新市街である◆奉天驛を距る十町の所に小西關あり此處に於て始めて我市街地と支那人市街とを區別する◆早くも滿洲の中央に立つ大停車場には毎日數十の列車が發着し滿洲の市街の中心と云ふべく◆…

今年流行 頭の飾物
黑地に金銀の透し彫 珊瑚に翡翠が大流行

所謂廂髮、束髮が漸次流行界から遠ざかつて、又日本髮が持て囃されて來た。之れは束髮が日本髮に比して

◇髮飾品 を餘り多く要せぬからでもあらう。つまり髮飾品の流行からいへば束髮は流行を云々する資格に乏しいといふ事になる。たとへば十五六歲から十七八歲位の娘さんには束髮向の髮飾品の流行がある。それは主として珊瑚入りの花形で之れに金銀の透彫のあるものその模樣は概して細かく、しかもアッサリしたものが流行する。その他の年增向の束髮髮飾品になると

◇金蒔繪 青貝入、花模樣等で、ピンは銀臺の透彫に珊瑚珠を鏤めたものである。こゝに最も注意すべき事は、今年の流行の透彫模樣が、從來のやうな太い輪廓を失つて花なら花そのまゝの形で金臺の模樣を作り上げてある事である。例へば菊花を圓の中におさめるのは從來のやり方で、今年の

◇流行は 菊花自身を圓形に作るといふやり方である。櫛は主として黑地に金銀の蒔繪を置いたものが流行る。又は螺貝入り等で比較的細かい模樣を施してあるが、それはバラ斑に蒔繪をしてあるがバラ斑の黑い處にだけ蒔繪をするのでこれに僅かの

◇色彩を 加へたものが、二十歲位から二十五六歲の婦人に用ひられる。又今年の新形としては、簪の樣に銀の透彫をはつたものが大變流行る。中ざしは翡翠の兩天が非常に流行する。概して、今年は翡翠が大流行で、殊に晩春から初夏にかけて、流行する。

新進女流浪界之横綱
京山愛子孃來る

初目見得の同孃は愈四月三日より壽館に現はる

◉神武天皇祭 仁川神社にては今三日午前十時より神武天皇祭を執行すべく楠野府尹及び官民の參拜者ある筈

◉西本願寺（若草町） 西本願寺にては三日夜月例法話あり

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
三月三十日より特別大興行
△實寫「マラッカ海峽」△滑稽「大の留守」△尾上松之助一派出演「舊劇佐々成政の傳」全四卷。織田信長の家臣佐々成政荒川の戰ひに上杉謙信と戰ひ武名を轟かし…○ユニヴァサル會社傑作世界的連續大寫眞「軍事大活劇第五快漢ロロー」四十卷の内第八九編四卷上場。…

浪花館 明治町 電話二六〇 東京大阪落語若手揃大一座來る
▲毎夜午後六時開演可仕候 演題△浦島（三勝）△羽織女郎買、曲手踊（新朝）池田猪買（ひさご）△天女音道樂三府浮世節（歌女）△危險術（一天）明一△言曲噺（右朝）△落語（圓輔）△落語、手踊（小勝）△三十石夢の通路（里鶴）▲大切滑稽喜劇「松竹梅」

壽館 京城壽町 電話一〇〇三
當る四月三日初日開演 東都女流浪界の横綱京山愛子一行 …初日は午後より初日開演可仕候…

御成座 御成町 電話一一九一
第二回藝題 一、友 佐藤紅綠氏作 二、喜劇やかずむこ 全六場 全二場

有樂館 京城本町一丁目 早川演藝部直營 天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
◎開館第二次特別大興行（毎夜六時半より映寫）○實寫□教訓お伽活劇「喇叭太郎」□實寫○黑隊長全五卷（ブラックキャピテイン）○若き女の半生（有松鳴衣脚色）…

壽座 京城壽町 電話五七八番
曾我廼家蝶島會一行 △替る四月三日より第五回替り狂言 第一 意外 第二 地獄咲 第三 亂れ手拍 第四 寶 入場料 ▲一等七十錢 ▲二等五十錢 ▲三等三十錢

子供入用
年齡十五六歲高等小學校卒業のもの數名募集す自筆履歷書携帶本人來談保證人二人を要す
京城本町一丁目 株式會社 明治屋京城支店

有樂館の名譽興行
問題の古典劇愈々現はる！！

△四月六日（金曜日）（三日間公開晝夜開館晝間は正午十二時より夜間は正六時より）
△四月七日（土曜日）
△四月八日（日曜日）

寫眞三萬呎に亘る長尺に付き正六時「カビリア」第一卷を映寫す

◆世界一の大寫眞！未曾有の傑作！
◆文豪ガブレッヱ、ダヌンチヲ氏不朽の作
◆伊太利イタラ會社が世界に誇る

文藝古典劇 **カビリア** 全十二卷 三萬尺

應援として天活會社辯士長 宮原保 出演

說明者 早川演藝部洋劇擔當主任 薄田半曉
早川演藝部主任辯士 南鄕公利

◎撮影費百萬圓！閱日滿一ケ年◇
◎出演俳優一萬人！生けるローマ史◇

曩に帝國劇場に公開し滿都を震駭せしめたる眞價百萬圓の大寫眞「カビリア」は今回早川演藝部が大なる努力と犧牲とを拂ひて其の映寫權を獲得し有樂館に於て三日間限り公開す！英京倫敦に於て最低二磅（二十圓）帝國劇場に於て五圓大阪角座に於て參圓の入場料を以つて公開せる「カビリア」は文化の眞髓を發揮し盡せる大寫眞なる事を保證す

◇聞け！
イタラ會社が十萬法を投じて落札したるダヌンチオ氏の傑作にして有名なる作曲家マンリチマツア氏に一萬圓の作曲料を拂ひて歌詞を作り次に百萬法の現金を投じて高さ三十丈のモロツコ大聖殿を建築し世界の富と時と努力とを盡せる大寫眞なり

△觀覽料
特等 御一人 金二圓
一等 御一人 金一圓
二等 御一人 金五十錢

◎内地各地にては視學官の手を經て學生諸君の團體覽觀をなせり
◎學生軍人は晝間興行に限り特に ◇一等五十錢 ◇二等卅錢 ◇三等廿錢
團體の觀覽は特別の御相談に應じ申候 十二歲以下の小兒は入場御斷り但し御同判は差支へ無之候
◎混雜を避ける爲め市内各所に發賣所を設く
◎入場者に制限あり賣り切れぬ内御買上を乞ふ
◇京城本町二丁目 大阪屋書店
◇同 本町三丁目 ウツボヤ書店
◇同櫻井町一丁目 早川演藝部本店

早川演藝部直營 有樂館 電話二〇五番五九七番

りん病
消渇で困る方 多年の慢性も
自宅で人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試よ此藥は他の藥店になし切手三錢添へ一日も早く申込まれよ其良藥と自宅治療の詳細を敎ゆ
名古屋市南かじや町 武藤石吉

致富之栞!!進呈
營業所（堂島濱壹丁目）
大阪堂島米穀取引所仲買人
今津商店

種子芋
馬鈴薯 但し長崎產赤色丸形
右精選請合品壹萬貫限り特價御用命に應ず
委托問屋 京城南大門東市場 藤岡商店 電話一一六四番 振替京城二〇八八番

期
曾我商店

寫眞機 寫眞材料
京城府明治町二丁目
長崎屋商店 電話二二二〇番

時計貴金屬 美術品彫刻
糸岐商店

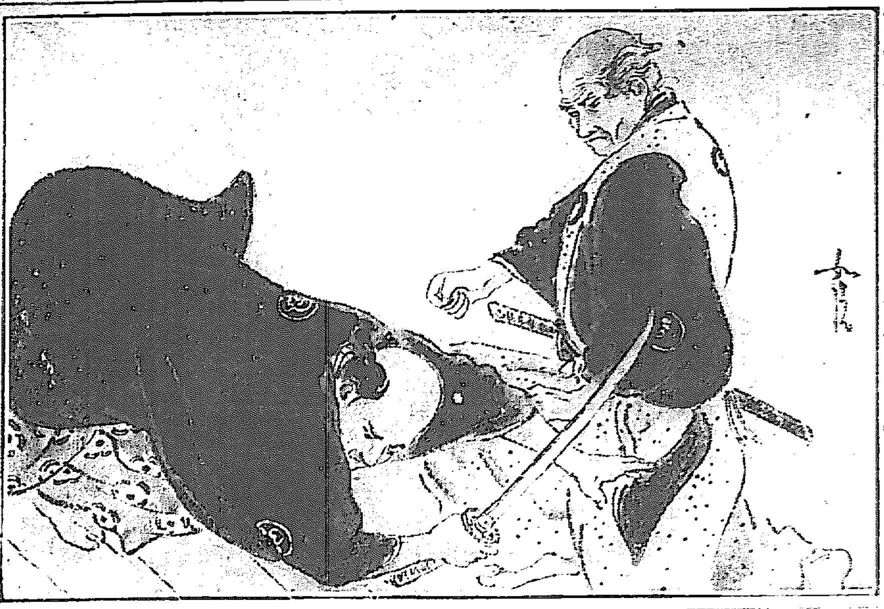
長壽靈藥は「ヨーグルト」
京城若草町 荒井牛乳販賣部
荒井の牛乳 滋養と健康の母は

桑苗及接木 穗木
蠶具、蠶種（在品豐富）營業品目錄無代進呈
京釜線大田驛 東蠶社
蠶繭移出業

明君道中記

第百四席 田邊南龍口演

主人に對して諫言を申しまするもいろ／＼方法がございます、我身を捨て御意見をする、又其をしては叶ひませんと強て諫める、是は頑折主の意に逆ひ武家方ではお手討になる、危險な方で、物に諭して意見をするが是が一番安泰でございます、扨川村靱負は本多上野介に切に意見をした、上野介は暫し考へて居りましたが 上『イヤ、是は其方の申す通り、如何にも予が過失であつた、我は德川に仕る者、其者が三代の公をば害し奉るとは甚だ以つて心得違ひである、されば其方の意見に從ひ此の儀は思ひ止るであらう安堵いたしてくれ』靱『ハヽ、不肖靱負の申し上げたるを御事用ゐになりお止り下さるとは有難き仕合に存じまする、罪あつて御勘當にあひなつたるは如何とも致し方がございません、其儀お悟り相成り某の申し上げたるをお聞入れ下され誠に有難き事に存じまする』と頭を下げたる時に上野介傍にあつたる一刀を取るより早くスラリ引拔くやいなや飛かゝつてヤツと云ふ聲諸共に靱負を一刀の許に斬り捨てんといたしました、誠に僅の所にて靱負はヒラリ體を交し、空を打せて直いて手刀を以つて上野介の手頸をハタと打ち、バッタリ落す刀を拾ひ取らうとする所を確と押へたる靱負 靱『斯迄御意見をしても御止りになりませんか、靱負を憐むきおにて手討に遊ばしても將軍家を打ち奉らんと御決心をなされしか、臣として君を制し奉るは此上もなき不忠には候へども天下の爲めに據なく君を弑しまゐらせて將軍家の御身を安泰に取計ひ參らせる、お覺悟めされ』と右の刀を取直して上野介を刺んとする時上『アイヤ靱負、暫く待て』と折らるゝも厭はぬばかり咲にけり籬に姿る白菊の花』これを聞し靱負は押へたる手を放し刀を其邊へ差し置いて跡へ下つて兩手をつき 靱『扨はそれまでに思召しましたるか、斯なる上は是非に及ばん、一度御意見を申し上げたるが飽迄其思召しなれば靱負此上は御同意仕るでございませう』と打つて變つた川村の言葉に上『何と靱負、其方は予が申したる事をば用ゐて將軍家を討ち參らせると申するか』靱『されば善惡共に君のお言葉に從ふを以つて忠義と申します、是非に及ばず御同意仕ります、然し如何いたして討ちまゐらする御所存でございまするか』上『左樣その儀を其方へ相談をいたしたい』靱『迚も刺客を用ふる事は叶ひませんし』上『然らば毒殺をいたすか』靱『いやそれは迚も叶はず萬事御用心をいたし恐く心を付けまする事故却々毒殺なぞは思ひもよらず』上『然らば飲用水の中へ毒を入れ、是を差上げるか』靱『その儀も迚も叶ひません、當城へお出すなつても必ず當城内の水を上げるわけはございません、江戸表よりいたして召上るだけの水を送る事に相成つて居りまする』上『然らば何んといたしたら宜からうか』靱『是は慶長五年、關ケ原一戰の時に江州水口の城主長束大藏大輔が德川家康公を釣天井を以つて失ひ參らせんといたしたる例もあれば、當城が御旅館と相成るが誠に幸ひ、右の計略を以つて討ち參らする事然るべく柱は殘らず中を彫拔き、又合せ天井裏に大盤石を重ね、毛綱を以つてつなぎ止め、その毛綱を切りはなせばバツタリ落ちる天井、右の如くして失ひ參らせんと心得ます、此儀如何にございまする』と云はれた時に上野介は餘りの巧みに驚いて、何んとも云はず只茫然として靱負の顏を覗めて居りました。



入院隨意 京城南大門通一丁目二十番地（漢城銀行前）
胃腸病院 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

齒科診療 野田齒科醫院
齒科醫士 野田應治
本町一丁目三越向 電話一〇四七番

三 四月四日 九星 舊閏二月十三日 丙子 本命七赤 西開 友引

[illegible]

無病長壽を希ふ人ありや
然して津村兄弟商會の人參エキスを知らざる人ありや
人參エキスに親しまる方は一生健全也
京城本町一丁目 津村兄弟商會 〇八四一

ルーデサック 特製品
A十個四十錢 B十個六十錢 變形一個廿五錢 女用一個八十錢 廿個以上一割引 郵券代用一割增 外に要送料 總べて前金の事
振替京城三二七番 京城黄金町三 山田文殊堂藥房

タヾの一度で艶っぽい美しい黒髪とするホーカー美髪液懸賞なぞなぞ當選發表

先般募集仕り候懸賞謎々左の通り當選發表仕り候
一、同案にて解き方の巧妙なるを採り申し候、同案同句のは先著順により申し候
一、賞品は四月廿日前後に發送仕る可く候

東京神田區和泉橋 ホーカー美髪液 ホーカー白粉 ホーカースキート 本舖 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六

◎課題 ホーカー美髪液とかけて

▽一等（五圓商品券一枚宛）三人

石川縣 正木たけ子
心は雷（髪死）がよく鳴る
（高山の夕立 先著）

兵庫縣 山田靜雄
豊年の季節 心は穀（毛）なく育つて瑞々（水々）しい

新潟縣 笹川保
櫻花 心は夕映（日榮）が美しい

▽二等（十圓化粧品一函宛）五人

靜岡縣 渡邊和夫
色居 心は紬（髪）につきもの

[illegible] 金生
山門の色 心は夕日（優美）に仁王
（句ご）

京橋區 金澤 [illegible]
負けた力士の星取表 心は付ける（漬ける）度に黒くなる

中澁谷 新倉はる
當り年の葡萄 心は房々として艶がある

岐阜縣 小林市太郎
十月の田圃の畷 心は稻（髪）が多くなる

▽三等（一圓化粧品一箱宛）十八人

[illegible]

▽四等（五十錢ホーカー化粧品一箱宛）五十人

[illegible]

▽五等（ホーカー美髪液二十錢一瓶宛）百一人

氏名多數に省略す

京城永樂町一丁目（商品陳列館裏門通）
電話一八〇番 二六〇番
入院隨意 酒井婦人病院
院長 酒井一郎

學校用品 [illegible] 和洋文具店

朝鮮特産 ワングル靴
世の進歩に伴ひ現出せる本品は斬新上品堅牢なるにも勝り價格廉なるを以て諸賢各樣の大歡迎を受つゝ有り多少に不拘御購求を乞ふ
ワングル靴製造一手販賣
京城明治町二丁目四〇 古賀喜營業部 電話一八三三番
京城明治町二丁目六六 古賀喜靴皮具製造部

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

男のひみつ病
◎東京順天堂病院始め博士学士の御證明と全快者の禮狀頗る多く且つ全國發明品の内最高の專賣特許手島式眞空療法器は包莖包皮短小、萎縮能力の障害、神經衰弱、淋病等は頗ふる手輕に外用し得られ而も點に優秀なる品にして非常に好評を博し居り候
生殖器に治るハガキにて申込れば說明書を無代進呈す
東京京橋木挽町三丁目 東京新療法研究所
大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所

タンセキ改良劑 呼吸器散 呼吸器丸
肺病豫防劑
本劑は最新の處方を以て特效藥を配合せるを以て如何に重き呼吸器病にても一週間程試みらるゝ時はタンを祛りセキを鎭め胸苦しきを和らげ安眠の效を奏する事確實なり
かゝる時卓效あり
息苦しく胸痛む時
咳出て夜眠られぬ時
たんに血の交る時
醉で潤れ出でゝる時
のんど離れ難む時
たんせき切れ難き時
價 十錢 貳拾錢 四拾五錢
本舗 大阪心齋橋 東京新橋區町 丹平商會藥房
全國到る處の各藥店にあり

ゲンソ液
七日以内にソバカス、ヤケ、シミの生じた顔色を自くなるゲンソ液
小壜二十錢 徳用四十錢
全國で唯一の元素液を施用すれば色は日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに實に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物店化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料內地八錢 滿鮮卅錢 臺樺廿錢
東京神田和泉橋際 松本藥店

化學的に皮膚を強く美しくする
鶴の卵石鹸は而も價格低廉にして實用第一也
特約販賣店
京城南大門通り一 五福商店
同 明治町二 月本商店
釜山大廳町 明治屋商店
平壤大和町 廣島商店
純良石鹸 鶴の卵
本舖 東京馬喰町 兆井文店

袖珍 府及學校組合法規提要
宇佐美內務部長閣下題字 小原地方局長閣下序文 京城日報社編纂
內容
朝鮮府制、府制施行規則、學校組合令、學校組合施行規則、府及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して漏さず就中卷末に添附したる例規の如きは最近七月に發布せるものまでも收めたるを以て府及學校組合は固より內地人、各學校教員、組合會議員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也
裝幀
携帶に便ならしめんため製本を袖珍とし紙數は三百餘頁總洋布天金製に改め文字入りの頗る美本なるに加へ殊に便に法規各頁の上部約一寸五分を餘白として更らに卷末に十數頁の白紙を綴込みて備忘要欄に供したるが如き以て本書の活用上に於ける用意の一端を窺ふに足る
大賣捌元 京城日報社代理部 京城太平通 振替京城三〇〇番
▲定價金壹圓廿錢 送料本社負擔

金言
十字を讀むよりも一字を味へ
（荀子）

●さあ大變!!
忘れたと散歩の途中お父樣お困りのとき可愛らしいお孃樣の袂から出たのは重寶な
仁丹四季容器

仁丹活用
旅行する時仁丹召上れ
頭痛目眩に仁丹召上れ
食傷腹痛に仁丹召上れ
吐き下しに仁丹召上れ
煙草の代用に仁丹召上れ

京城日報　第三版
四月三日（夕刊と合せて八頁）

▲更に上伸す　[illegible]

大阪期米（二日）　高値 一五、七九　一六、一七　一六、六五　安値 一五、七〇　一五、九八　一六、四七　止め 一五、七九　一六、一六　一六、六五

京城日報

教育革正論（七）　朝鮮教化の第一義

今や朝鮮の儒教は、虚學の弊に陷り、世道人心を扶植するに足らざるや此の如し。佛教は衰滅して死灰の如し。天主教及び耶蘇教の各派は、其の勢力を張り、傳道に努力するも、國民教育の標準と爲すに足らざるや、亦彼が如し。然らば則ち今日に當り、朝鮮人を精神的に教ふるの道果して如何。曰く、國民教育の方針を確定して之を實行に顯はすに在るのみ。

朝鮮國民性の墮落は、一言以て之を蔽へば、支那形式的文明の弊に陷りたるもの也。湯の盤の銘に『日々新又日新』の箴言あるに拘らず、支那文明が保守的性質を帶びて向上せず、一律に斷定する能はざるも、清朝は明元よりも、明元は宋唐よりも、宋唐は六朝、晉、魏よりも、六朝、晉、魏は、東漢、西漢よりも、東漢、西漢は秦、周よりも、秦、周は殷、夏、堯、舜の時代よりも下れるの觀あるものは、其の原因、一にして足らずと雖も、虚學の弊を以て其の原因の一と爲さざる可からず。朝鮮の文明も同じく支那文明の餘流を汲みしものにして、其の一世は一世よりも下り、其の一代は一代よりも低く、正に泰西文明の向上的進歩と其の趣を異にし、支那文明と同一狀態に在るは、深く異とするに足らずと雖も、其の原因の一は、虚學の弊に在ることを否定す可からざる事實也。儒教は必ずしも虚學に偏したる學問と云ふ可からずと雖も、孔丘が『信而好古』と云へるが如く、其の病根は、理想世界を唐虞三代の文明に定め、社會をして此理想に復歸せしめんとするに在り。故に其の主義とする所は、將來に進歩するにあらずして、過去に向て退守せんとするもの也。支那の文明をして形式的たらしめ、向下的たらしめたるも、支那の民族をして今日の如く墮落せしめたるも、此に在り。朝鮮の文明をして形式的たらしめ、向下的たらしめたるも、其の國民をして亡國的の域に瀕せしめたるも、其の政治、宗教、經濟、風俗をして廢頽今日に至らしめたるも、亦此に在り。然らば則ち、今日に在りて、朝鮮人の精神復[illegible]帝國統治の下に、協[illegible]根たる虚學の弊を芟除し、實[illegible]主義を應用して[illegible]の運命を開拓するに在るのみ。實學主義を以て朝鮮教育の大方針と爲し之を以て朝鮮人教化の第一義と爲すに在るのみ。是れ思想界の大波に動盪せる一般の朝鮮人をして其の嚮ふ所を知らしむる唯一の道にして、實に朝鮮統治の要訣と爲す。

神武天皇祭

本日は我豐葦原瑞穗國を平定して皇基を定め給ひたる、皇祖神武天皇が、御齡一百二十七歳にて、大和橿原に崩御の日に當るを以て、毎年御例祭日として、國民一般誠意を捧げ奉る。

謹案するに、神武天皇は、皇祖天照大神より六世の神孫にして、大に皇基を堅定し給へる我中興の皇祖なり。天皇御名は若御毛沼命、又の御名を神日本磐余彦火火出見尊と稱し奉る、彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊の第四子にまし／＼、御母は玉依姫命即ち大綿津見神の少女なり。紀元前五十一年庚午の年を以て御降誕まし、甲申の年を以て御年十五歳にて太子に立たせ給ひ、御年四十五歳の時諸皇兄及び皇子等に詔給ふに、昔我天神高皇産靈尊、大日孁尊此豐葦原瑞穗國を以て、我天祖彦火瓊々杵尊に授け給ひしに今此西偏に在て遼邈の地猶未だ王澤に霑はず、聞く東方に美地あり以て天業を恢弘め天下に光宅るに足れり。宜く就て之に都すべしと、甲寅十月群臣を帥いて東征し、己未二月中州を全く平定し給ひ三月都を畝傍の橿原に定めて宮室を經營し給ひ、翌年秋九月媛蹈鞴五十鈴媛命を納れて正妃と爲し給ふ、即ち事代主神の女なり。辛酉正月朔日天皇橿原の宮に帝位に即かせ給ふ、是歳を以て天皇の元年となり、即ち我紀元元年也。

皇祖天神の詔に從ひ神籬を樹て八柱の皇神を齋き祭らせ給ふ、之れ神祇官の八神殿なり、天太玉命の孫天富命天璽の鏡劍を捧げて正殿に安置し奉り、天兒屋命の孫天種子命天神の壽詞を奏し、可美眞手命は内物部を率ひ矛楯を執りて儀衞を嚴にし、道臣命は來目部を率ひて宮門を護り、以て群臣を朝せしめ天種子命、天富命に命じて共に祭祀を掌らしめ萬機を輔翼せしめ給ふ、二年壬戌二月朔日功を定め賞を行ひ給ふ、四年甲子二月詔して、我皇祖の靈、天より降鑒して朕が躬を光助し給へり、今諸虜正に平ぎ海内無事なり以て天神を郊祀し大孝を申ぶべしと靈時を鳥見山中に立て皇祖天神を祭らせ給ふ。

嗚呼天皇神聖の烈を承け東征の武を振ひ、一擧して海内を定め祭祀を愼み政理を察し、神器を奉安して以て萬世の爲基を開き給ふ、宏謨大業二千五百七十七年を經て愈々顯著なり、天長地久、皇祚豈窮あらんや。

皇祖登極の靈地―橿原神宮（遠望の山は畝傍山の端山也）

○滿洲に於ける　支那側新設銀行

▲官銀局　本行は張曉峰氏の發起に依り成立したるものにして資本金を二百萬元とす昨年（民國五年）末其の四分の一即ち五十萬元の拂込を終り愈々今年一月より奉天城内四平街に開業することゝなれり奉天省財政廳は本行に對し特に三十萬元を貸與して其の計畫を援助すべしと云ふ本行は一種の不動産銀行にして主として不動産に對する貸出を爲し奉天土地家屋等の不動産が商租規定に基き外人（殊に日本人）に抵當流れとなるを防がんとするにありて利權回收、國土保存を以て其の設立の本趣となす本行は株式組織なれども其の出資より云ふときは半官半商のものなれば特に官貸局なる名稱を附したるものなりと云ふ

▲崇華殖業銀行　本行は段日陞譚啓[illegible]等の發起に係り資本金を百萬元となし本店を北京に置き支店を東三省の要地に設くるの計畫にして民國五年一月其筋の認可を經たるも未だ開業の運に至らざるが如し本行の營業科目として掲ぐるところを見るに（一）森林墾牧、種植、礦産工廠を抵當とする長期貸付（二）爲替割引及び期票發行（三）地金及び貨幣の買賣（四）各種預金（五）保護預り等にして不動産抵當貸付を主業とするものゝ如し

▲哈爾賓農産銀行　本行は民國四年に依り[illegible]の濱江道尹李鴻謨氏の主唱に係り[illegible]商の機關銀行として設立せられたるものにして資本金を百六十萬留と定め同年十二月より開業したりしが昨年二百萬留の增資を行ひ目下更に四十萬留の新株を募集中なり最近の發表に係る第一回營業報告に依れば預金百三十萬元貸出金百二十五萬元にして三萬三千餘元の利益を擧げたりと云ふ

▲奉天農工銀行　奉天商務總會の發起に係り瀋陽縣各郷村を勸誘して目下設立の計畫中にあり資本金を百萬元となし耕地を擔保として貸附をなすの豫定なり

▲農工銀行　本行は今回新に發布せられたる農工銀行條例に依り設立せんとするものにして目下長春吉林、延吉琿春三姓の各地に於て其計畫中なり

▲採金銀行　本行は農商、財政兩部の首唱に係り金鑛業の發達を圖り發て地金の蒐集に便せんとするにあり本店を奉天に支店を吉林、齊々哈爾哈爾賓等に設くるの計畫なりと云ふ

▲興業銀行支店　本行は民國四年春北京に設立せられたる銀行なるが其の營業區域を滿洲地方に擴張するの爲同地に支店開設の計畫あるも未だ實行に至らず

▲殖邊銀行　本行は目下奉天に於て設立計畫中なりとの噂あるものにて本行の主唱者は馮麟閣、吳俊陞二中將及び于沖漢の三氏なり資本金六百萬元なりと云ふ（完）

日報詩壇

○梅花書屋圖（限韻）　笹島紫峯
梅樹繞廬流水聲。二分花綻晴香凝。[illegible]詩寫風神好。恰是黄昏月欲升。
評曰　吟來有玲瓏之韻

○春日坐雨　西村秋湖
楊柳青青帶雨新。湘簾不捲語書人。泥燕子開來往。苔綠庭中無俗塵。
評曰　即興之作自然有致

○雪中探梅　古城梅溪
雪郊十里路如虬。女字枝頭笑數花。誤識天公忌都俗。却傳春信向山家。
驕背衝寒步溜凘。水南探得一枝新。氷堆雪陽和未。美殺判梅獨占春。
淡木橋邊野水涯。雪堆千樹影横斜。詩一自撩湖處。只聽清香不見花。
評曰　觸境入詩、皆聲絶妙

○送高田小芥東歸　隈部矢山
廿爲狗白無夏。歸臥羨君心跡幽。望斷鄲鮮城。半天環翠望神州。春[illegible]鶴渡鈞絲島。夜月枕橋花氣浮。自適[illegible]瞪親節髪。爪郎奇句駭千秋。
評曰　前聯雄大、後聯細緻、用意湛

○春日偶成　兒島九皐
黄鳥聲中惹暗愁。落花如雪散林丘。前忽憶古人咲。昨日紅顏今白頭。
評曰　無限痛嘆

○梅花書屋圖（限韻）　安永春雨
結廬梅溪裏。春到碧波澄。千枝花[illegible]發。月來玉痕。青苔有鹿蹤。老幹[illegible]乾興。門無三顧客。徑有歸山僧。窓下疎影淡。凡邊暗香蒸。瑯瑯書聲起。夜深紅一鐙。
評曰　措辭宛然勵樊榭

○謝贈梅花　永井烏石
江北春寒未見梅。江南爲贈一枝來。此君清絶有誰伴。唯使水仙燈下陪。
評曰　字字鏗鏘殊推奇想

今　東京で飛ぶ賣れ……大阪で如く……至る所で大好評
▲御客樣▼　▼煙草屋さん▲
御存じデスカ　御買ひ下さい　お賣り下さい
全國の煙草屋にあります
登録商標

（一つ五本入 定價十二錢）
東京本所二の橋角　煙草『鮮島』專賣所
關西總轄支店　大阪市東區久寶寺町四心齋橋筋
製造 第一 第二 第三 第四 工場
長電話本所三六八六　振替東京二一五三九

大增補六年版
帝國法律研究會 法學士 安部安道先生新著　洋装美本七百餘頁 定價金九十錢 送料八錢
正しき證書の書方
本書は法律家の鑑定も代書人も要せずに金錢土地建物其他諸物件の賃借賣買讓渡轉質入並に抵當等の諸契約證書請書の書方、民事刑事人事の訴狀申請書、婚姻出産死亡等の證明等、人事其他一般の願屆、執行假差押假處分申請等數百種の書式を何人も書き得る樣說明し法律判例を參照して後日損害違法の憂なからしむ、眞に一字一句活用出來る書也
縮刷　大審院部長 馬場愿治先生閲　法學士 筒井松堂先生著
債權者の活顧問
正編 定價金一圓 特價八十五錢　續編 定價金三十錢　送料各八錢（正續共）
大正六年版は大增訂を加へポケット形にせし爲め好評嘖々忽ち三十版を賣盡す而て九百頁に近き豐富なる内容は債權者及債務者の知得すべき一切の事柄を授け、實際に起る問題も立所に圓滿に解決せしむる事殆ど辯護士に勝る
發賣　東京日本橋北鞘町 大阪屋號　振替東京一三七五　京城 振替二五七三 電六〇八六 大阪屋號

最新刊
書名　著者　定價
死の蔭に　德富健次郎　一、八〇
磁氣と物質　本多光太郎　一、八〇
債權者の法律顧問　一、八〇
朝鮮の金鑛　一、〇〇
大正六年最近朝鮮事情要覽　六五
英語活用自在　二、五〇
資金利殖學　經濟調査會編　一、〇〇
啓發錄　加藤桂堂　一、〇〇
模範作文講話　大町桂月　一、三〇
最新植物生理學提要　一、五〇
誤り易き漢字の讀み方と正しき用字法　久保天隨　六五
富の礎　安田善次郎　一、〇〇
洋樂　一、〇〇
實務の人　一、〇〇
大正六年鑛區一覽　總督府編　四〇
ペン商業書式習字帖　三〇
江戸一代女　一七〇
ペン數字練習帖　大阪屋號編　一〇
大阪屋號書店

新田式耐水調革　新田式ハラタ調帶
新田帶革
朝鮮總代理店　京城本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
定價表申込次第送呈

滿十周年號出づ　四月號
今號に限り四十錢　普通一部二十五錢　一ヶ年三圓　郵稅無料
朝鮮及滿洲
長谷川總督後の朝鮮……釋尾旭邦
外評論……藤井博士
旭邦を論じ朝鮮の新聞界に及ぶ……氷樂町人
武斷的民族主義と文化的民族主義……一記者
朝鮮統治と內容……山梨閣主人
在京歐米人と其事業……山本翠內
朝鮮の將來と國民の覺悟……石塚總裁
列强極東政策史論……山西恒郎
日本殖民政策と東洋史……拓殖局長
人類の進化と政治道……八見大郎
朝鮮工業敎育と將來の希望……宇野敎授
戰時の歐米一週……
產業的に見たる滿洲の價値……滿鐵理事
人體發生史……久保博士
吾輩の對支政策（記者との問答）……侯爵 大隈重信
本誌の滿十年號に題す……社長 釋尾旭邦
寺內式は朝鮮の人氣を振興する道にあらず……男爵 澁澤榮一
裏門より見た總督府……柴目公
朝鮮新聞界の回顧十年……浦生大夢
蒙古開發の根本義……駒井德三
植民地神社行政私見……山崎元幹
朝鮮の十年黨……ヒマラヤ山人
英國の美風……孤殿秋花
蒙古探險記……古川生
支那の女……小林生
十年前の朝鮮と十年後の朝鮮……任鮮諸名士數十名
▲京城成功者昔物語……嵩嶺山人
▲京城花柳界の今昔……お銀
▲朝鮮社會百面相
小說 空中時代……ローソン作 天來生
●漢詩●和歌●短歌●俳句●朝鮮滿蒙問答●時事日誌●風聞駄語
發行所　京城旭町 振替京城一二五〇 電話三二〇番　朝鮮雜誌社

○墺相講和聲言有意義

アムステルダム來電―墺國外相は半官報フレトデンブラット紙記者との會見に於て語つて曰く「中歐帝國は敵にも味方にも其の名譽を傷くる事なき形式を以て和を講ずるの意あり然れど若し此の交渉にして失敗に終らんか吾人は戰爭を繼續して差支なし」と此の發言の報道は講和に關する獨墺兩國の新提議に就て種々の情報到著せる後に接手せるものなるを以て大に有意義のものと認め得べし(紐育電報)

○丁領島買收證券手交

華盛頓來電―國務卿ランシング氏は丁抹公使に對しグアジニ諸島(丁抹領西印度の諸島)買收金支拂の爲二千五百萬弗の證券を手交せり右の手續終る今前副知事ダニエル氏は同島に在る米國海軍司令官に宛て無線電信を發し政府の名を以て直に同島の引渡を受くべく訓令せり(紐育電報)

○擊沈船乘組員著港

リオデジャネーロ來電―佛國帆船デムブロンヌ號はトリニダット沖に於て獨逸船の爲め擊沈されたる諸船舶の乘員二百名(英、佛、伊三國人)を乘せて當港に入港せり獨船はガゾリン發動機を備へたる帆船なりと傳へらるゝも多分例のメーヴエ號が捕獲せる船舶中の一隻ならん生存者の談に依れば諸船舶擊沈に際し多數の死者を出せりと(巴里電報)

○對敵禁通商案

二日樞密院特別委員會に於て對敵通商禁止案を審議せり近く本會議に附議する筈(東京電報)

□神武天皇祭 御祭典

三日は神武天皇御例祭に就き宮中にては嚴かなる御祭典を行はせらるべく當日各皇族方を始め大勳位親任官以下勅任待遇は午前九時迄に參集し神樂歌奏中に御開扉献饌、九條掌典長祝詞を奏し右終つて天皇陛下には黃櫨染御袍にて出御御拜禮御告文を奏させ給ひ次で皇后陛下御拜禮引續き各皇族方並に參列諸員の拜禮あり撤饌御閉扉正午より午後二時迄神佛各宗派管長伯子爵從二位以下、勳二等以下、功三級以下奏任官同待遇門跡寺院住職等の拜禮ある筈なり(東京特電)

○南侯御下問奉答

大隈西園寺兩侯爵は二日午前參內拜謁仰付られ御下問に奉答する所ありて後退出せり(東京電報)

○憲兵隊長更迭

四月二日附左の如く更迭ありたり(東京特電)

補朝鮮駐剳憲兵隊長 名古屋憲兵隊長陸軍憲兵大佐 中島矩貞
補朝鮮駐剳憲兵隊長 朝鮮駐剳憲兵隊長陸軍憲兵大佐 前田昇
補朝鮮駐剳憲兵隊司令部附 朝鮮駐剳憲兵隊長陸軍憲兵中佐 小澤[illegible]
補小倉憲兵隊長 岡山憲兵隊長陸軍憲兵少佐 山本喜房
補朝鮮駐剳憲兵隊長 朝鮮駐剳憲兵分隊長陸軍憲兵大尉 村田正治
補岡山憲兵隊分隊長 朝鮮駐剳憲兵分隊長陸軍憲兵大尉 原卓爾
補久留米憲兵隊分隊長
補朝鮮駐剳憲兵隊分隊長 久留米憲兵隊分隊長陸軍憲兵大尉 三上竊吉

○德富氏大阪通過

貴族院議員德富猪一郎氏は渡鮮の途二日午前六時大阪驛を通過せり(大阪特電)

○長谷川總督南巡要記 特に產業教育に意を注がる

長谷川總督は就任以來夙夜勵精政務の中央地方の別なく最も愼密の注意を以て攻察し、直接親務の間暇を以て親しく各道巡閲の志あり去月下旬先づ南鮮六道の巡察より

▲其の程を起し 淸州、公州、全州、光州、木浦、晉州、馬山、大邱の各地を經て二日午後無事歸任せられたり、各地巡視の狀況に就きては已に電報其他に依りて時々報道を怠らざりしが俯仰[illegible]更らに見聞の要點を記[illegible]三日午前[illegible]入時京城發[illegible]直ちに自動車に依り[illegible]淸州に入る、總督は今[illegible]第一に成るべく地方[illegible]掛けざるを以て念と[illegible]も得ざる場合の外旅館に入る事と爲せしも淸州にては適當の旅館なかりし爲め止むなく道長官官舍に入れり當日は午餐後道廳に於て長官以下各局課の主任より所管事務の報告を聽取し後ち物產陳列所、慈惠醫院、授業傳習所、警務部、法院支廳、小學校、普通學校

▲郡廳等を巡閲 す二十四日午前九時同地を發して公州に著し常磐旅館に入り午後道廳を始めとし警務部、地方法院、守備隊、物產陳列所、農林學校郡廳、面役所、慈惠醫院、實業協會を巡視され普通學校小學校には代理として釜屋武官を派遣せり、淸州著後天候漸く寒冷を覺へ居りしが公州に入りては一層劇げしく已に腰據も取外しありて一同戰慄し總督の艦據も氣遣ひし程なり、二十五日は早朝公州監獄を視察し同地を發して論山に出で、恩津の彌勒に立寄りし上、途次更に東山農場を視察せり此日白雪皚々として全州の山野を掩ひ中谷監督は雪中總督を案內して詳細狀況を說明す、其小作人組合法の著々良績を擧げ

▲大地主の常弊 に陷らざるを期し居れるは喜ぶべきものあり全州にては午下著後道廳物產陳列所を巡閲し旅館平野屋に投宿す、二十六日には早朝先づ多佳山の高地に登り一帶の地勢を展觀し次ひで更に太祖成桂の慶基殿に參拜し次ひで法院支廳、警務部、公立普通學校、小學校、守備隊を視察せり總督は今次の巡視に於て產業教育の兩項に就き最も注意する所ありしが各學校の視察中親しく日本帝國の何たる總督又は鮮人の何たるを質問したるに能く其意義を失はざるのみならず何れも流暢の日本語にて答辯せるには

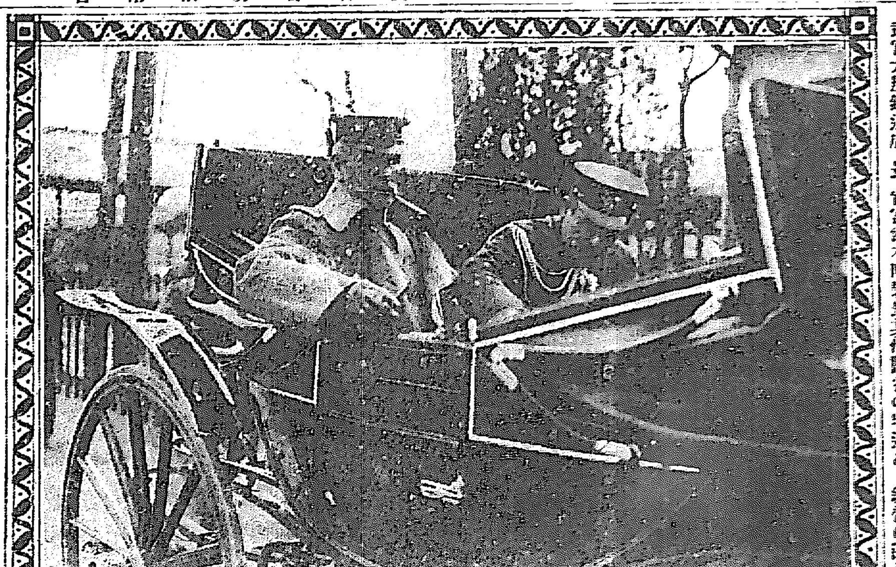
▲深く感動され たるが如し

午後全州より光州に入り二十七日は早朝より道廳舍に入り、物產陳列所、警務部、守備隊、普通學校、地方法院を巡閲し午後木浦に著し三吉野に投ず二十八日は午前中府廳、小學校、公會堂、棉業會社、稅關支署を視察したるが同地に入りては天候回復して溫暖と爲り午後二時光濟丸に搭じ三千浦に向ふ、海上波なくして南島の風色亦た絕佳二十九日午前四時昌善島著假泊の上同七時三千浦に著し直ちに上陸自動車に依り同十時頃晉州に入る、旅宿道長官々舍に於て長官の狀況報告を聽取し午後二時重なる官民及び宣教師の引見あり、後ち道廳、警務部、普通學校、小學校、農業學校、慈惠醫院、守備隊、法院支廳、物產陳列所を巡閲し更に文廟矗石樓の古蹟たる

▲矗石樓を視察 せり、三十日午前晉州を辭して馬山に出で望月に投じ午後二時より驅逐艇にて鎭海に至る、灣內肥前敷島等の第三艦隊碇泊し居り村上司令長官の代理として參謀長の伺候あり上陸後約二時間を以て要港司令部、防備隊司令部並に市街地の狀況を視察し夕刻歸館三十一日は早朝より馬山府廳、鎭海重砲隊、小學校等を訪問し午前十一時半發大邱に向ふ、列車中にて慶北村井農場主任の野氏の報告を聽き午後三時過大邱驛著花屋に入る、同日は午後休養され一日早朝より道廳、府廳、慈惠醫院、產業傳習所、覆審地方兩院、慶北學校等を巡閲し以上を以て二日午後歸任されたる次第なり、因みに總督は今回地方の巡閲に於て前記產業、教育に關し最も注意を拂ひたる外近時地方の風紀に關し文弱に流るゝの虞れなきか、將た又中央部の命令が克く咀嚼されて郡廳面事務所等の下僚に達し居るや否に就き深く熟察せられたる者なるが如し兎に角今回の地方巡視が總督將來の施政上に於て非常に參考の資料となりたる者ありしは疑ひなき處なるべしと言ふ

▲今回第一次の 巡視を了し

□巡視より歸れる長谷川總督



南鮮各道巡視を了りたる長谷川總督は二日午後三時五十分南大門驛著臨時特別列車にて歸京されたり停車場には秋山軍司令官、高橋總督府附武官、大塚鐵道局長、官宮鈴木本町署長其他數名の出迎あり總督は宇佐美內務部長官、釜屋武官、齋藤副官、神田秘書官、藤波通譯を隨へて十數日間の巡視に聊か疲勞の色もなく出迎の人々と快活に打語りながら驛貴賓室車寄せより憲兵數騎前驅後衞し馬車蕭然として官邸に入れり

○警務部長更迭

今回左の如く警務部長憲兵隊長及び憲兵分隊長の更迭ありたり

鏡城憲兵隊を免し晉州憲兵隊附を命す 朝鮮駐剳憲兵隊附憲兵中佐 水間春明
光州憲兵隊附を免し鏡城憲兵隊附を命す 同 浦野丈藏
海州憲兵隊附を免し光州憲兵隊附を命す 同 憲兵大佐 國澤義夫
全州憲兵隊附を免し海州憲兵隊附を命す 同 憲兵少佐 伊東四郎
全州憲兵隊附を命す 同 憲兵大佐 中島矩貞
承州憲兵隊附を命す 同 憲兵少佐 山本喜房
海州憲兵隊附を免し光州憲兵隊附を命す 朝鮮駐剳憲兵分隊長憲兵大尉 高田稔
海州憲兵隊を命す 同 三上竊吉
義州憲兵隊附を命す 同 憲兵中尉 久留島群道
公州憲兵隊附を命す 同 近藤正
成興憲兵隊附を命す 同 持永虎吉
同 篠原完
海州憲兵隊附を命す 朝鮮駐剳憲兵隊副官憲兵中尉 高瀨圓治
公州憲兵隊附を命す 同 山崎次郎

○高等警察課長 前田大佐の襲任

慶南晉州憲兵隊長兼警務部長たりし前田大佐は新に警務總監部高等警察課長を命ぜられたり

新任高等警察課長 前田大佐

○府協議員重任

京城府協議員白寅基金漢奎の兩氏は四月一日を以て任期滿了したるも引續き重任の旨同日附を以て道長官より辭令を交附されたり

○鮮銀の催宴

朝鮮銀行にては今回渡日の途入京せる支那王交通次長一行並に滿鐵社員歡迎の爲め二日午後七時より花月に盛宴を張れるが鐵道局よりは大塚長官以下關係各課長招待せられ朝鮮銀行よりは各理事局長關係課長出席し總員四十四名なりき

○山形少將別宴計畫

前の京畿道警察課長山形陸軍少將は近く出發歸東すべきに就き同氏の爲めに盛大なる送別會催の計畫あり二日京城府に於て金谷府尹岡京城瓦斯專務其他會合打合を爲す所ありたるが憲兵隊司令部とも交渉の上近く具體的發表を見るに至るべしと

○乘組員京城見學

軍艦千代田乘組下士以下は二日半舷上陸をなし倘三四の兩日京城見學を爲す由

○交通部員出發

渡日の途次入京せし支那交通部王次長以下廿餘名の一行は三日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上の筈

○平井博士築港視察

支那交通部顧問平井工學博士は鐵道局井上副參事の案內にて二日下仁築港を視察し即日歸京せり

○仲買人組合總會

仁川米豆取引所仲買人組合總會は去る一日鱗樓に開催され出席者十一名組合の第九期決算報告あり全部承認し後役員の改選を行ひたる結果一の組は淺氏二の組は今村、田中信、齋藤、平田、高田、舟本、田中金の四名にて委員淺の四名にて委員今村氏三の組は荒木廣澤、豬飼、森の四名にて委員荒木氏を選定し委員長に淺氏重任したり尙請願巡查及び市場代理人三名に決定其他の件を附議し終つて實に移り散會せり

●德富監督來京

本社監督德富猪一郎氏は三日午後九時南大門驛著列車にて入京す可し

人事消息

▲大屋鐵道局長官 三日午前八時三十分南大門驛發東上の筈
▲野田寬氏(商人)▲青木善輔氏(同) 二日夜入京朝鮮ホテルへ
▲吉岡猪夫氏(鎭江保險社員) 同上
▲中村辰五郎氏(翻譯家) 二日夜退京
▲木村錦次氏(鮮銀理事) 一日夜東上
▲馬詰次男氏(東拓鐵原營所長) 二日朝歸京
▲ミラー氏(米國領事) 二日朝歸京
▲田中駐露國大使館附武官一行三名 二日通過內地へ
▲支丹仲藏氏(警務官) 二日釜山へ

■南言北語■

英國人の露國革命觀は面白い▲一體獨逸が今日迄の強味は必ずしも否認しないが▲聯合軍が戰ふ毎に不利であつたのは味方の露國宮廷から總ての秘密が獨逸へ筒抜けになつて居たからである▲之れを看破したのが英國で露國革命は之を防禦する爲に起されたものである▲だから之れから眞の實力戰になると▲成る程露國革命後の英軍は素敵滅法强くなつてドン／＼獨軍を驅逐して居る▲近頃大頭株の政客間には見るから物々しい下駄が流行つて居る相な▲芝居で見る殿樣の穿くやうな下駄今樣で云へば力士向きのものである▲西園寺、原、加藤のお歷々を始め岡崎邦輔、山本達雄君なぞも大下駄組だと▲趣味と流行には政敵はないらしい犬養君にも大きな下駄を穿かせたらよかろう▲幕府の旗本には白柄組とか何とか大分種々の組合があつて江戸市中を横行し能く喧嘩をしたものだ▲差し當り先生方も大下駄組と名を打つて東京のマン中イヤ日本國を大六法で歩かせたら面白いのだろう▲東京の華族會館に賊が忍び込で四萬圓程ある金銀製の花瓶と時價一萬八千圓と云ふ懸物を盜んで行つた奴がある▲處が此犯人は或は貴族中にあるかも知れぬと警察では見込を付けて居る相な▲先には鍋子夫人の一件で上流社會の家庭の內幕がさらけ出されて問題となつたが▲今又た華族會館の犯人でも現はれやうものなら愈々華族一代論が盛になるのだらう▲東京小石川音羽護國寺境內の豐山大學と云ふ坊さんの學校には百二十人許りの生徒が居る▲處が其の一割八分即ち約二割方學年試驗に落第者を出した▲而も其れが揃つて皆品行點で落第したとは呆れる▲之れだから墮落坊さんが屢々飛び出すのも敢て怪むに足らぬナーマーイダ／＼

□定例休刊

三日は神武天皇祭に就き同日發行の夕刊並に翌四日發行の朝刊は定例休刊とす(社)

日本一名物號 出でたり 五百圓懸賞問題

日本一

名物の感懷 志賀重昂
●世界一及び日本一の名物……本多博士
●甘い名物まづい名物……小谷誠
●世界に誇る日本名物……中田薰
●東京名物日本名物番附……社同人
日本一名物 澁澤榮一
●日本學界の四名物……浮柳博士
●名物人國記……横山健堂
●珍味百種……笹川臨風
●京の名物大阪の名物……丸山博逸
大名物論 侯爵大隈重信
●意外錄……和田垣博士
●大阪陣……福本日南
名物男論 文學博士三宅雪嶺
●政治界の名物男……石川半山
●日本一の城と松……戸川殘花
●をんなの名物……北野文次郎
●華府界の名物男……野村胡堂
名物日本總まくり 神長倉眞民
●名物お國自慢……當代百名家
●文壇の名物男……高島米峯
●學界の名物男……生方敏郎
●日本一の大掏……木下筑
山の名物 海の名物 谷津博士
本號定價 貳拾錢 郵税二錢 半年 壹年 南北社 東京

學生諸君試驗の褒美へ 組合せ文房具に限る 京城本町 シンサ

奉祝式年祭
自轉車及附屬品直輸入商 京城本町一丁目 大澤商會京城支店
……定價表無料進呈致候……
各官省上納成績頗良好
最新式 ケンネツト號 カーメタイヤ付 紳士用 競走用
最新式 クリスト號 クリストタイヤキ付 實用 各種用
登錄 商標
□絕體保證付自轉車□
ケンネツト及クリスト自轉車の堅牢なる遞信局を始め各官省商店向實用車として數年間販賣數量第一位を占め又競走用として常に各地競走會に常勝車の名聲を博せり高尙、堅牢、輕快の三語はケンネツト及クリスト自轉車に於て初めて冠して可なり幸に御試乘の榮を賜はり度候

菱印
年產額八十四万函
窓硝子
三等品 舶來品ニ比シ一層優良ニテ御邸宅用ハ是非此品ニ限ル
四等品 從來輸入ノ品ト同一ニシテ通常舶來ト稱シ需用最多シ
五等品 即チ松印ハ經濟向ニ限リ御使用ヲ乞フ
兵庫縣尼崎市 旭硝子株式會社

◉露國の大赦

露國政府は重罪犯人の大赦を行ひ死

…大連著自…

…長官大内民政署長等は船中迄出迎へ汪特使との間に種々懇談あり且

…辭を述べ汪特使の謝辭あり頗る盛會を極めたり夫れより夜に入り…

…我國が公法を尊重し人道維持の爲め…に對する邦交斷絶は之れを國際人…

…許、義務の程度は事前に於て條件の研究あらざる能はず條約國は前に路…

…なり若し再び前進する時は適々其術中に陷ち恐くは前判…を招きて後…

…策を堅守し米國の武裝中立と同一…變を支持するを可とす可き也と…

◉千代田乘組…

王交通次長＝昌德宮秘苑の宙合樓にて

●佛像や青磁に興を覺えつ

支那交通部員一行の京城見物

王次長曰く『京城は立派です』

東京に於ける第五回日支交通聯絡會議の爲め且つはまた日支親交の楔子として一日夜入京の王交通次長以下二十餘名は二日の朝から

◻市中の見物　先頭第一號の自動車にて王次長、權參事兩氏を始めとし第二號から第五號まで三十餘名がぎつしりと乘り込むで市中を驅つた、一行は先づ午前十時といふに總督府を訪問して山縣政務總監に敬意を表し次に景福宮博物館の交通部を見物した上正午倭城臺總督官邸の午餐會に招待され午後二時からは

◻中央試驗場　及び工業專門學校を觀る忙がしさ、午後四時からは更に五臺の自動車をつらねて昌德宮の仁政殿から秘苑の中を自動車で走り博物館では三國時代の佛像や青磁の高麗燒に感心しながら見物し案内の李王職事務官の導くまゝに支那の古錢などにも興を覺ゑつ更に宙合樓上では水魚門を隔てゝ

◻松籟を聽き　つゝ茶菓をとつた、中にも王次長は聽くばかりの流暢な日本語で『何の樹でせう？青いですね……』など、幽邃の趣きを賞しあひ隨員の各司長、局長の人々も多くは日本語の會話に英語のはなし、斯て午後五時に此處を辭して動物園を素通りし更に鍾路の大通りを西に疾驅して長谷川町の朝鮮ホテルへ歸つた、猶王次長は京城驛在總領事富士英氏と共に

◻ホテル前の　骨董店に俯…佛像、高麗燒を買求め丸く肥つて肩幅たる顏に微笑を帶びつゝ『京城はすべて立派です、殊に昌德宮博物館では市役や佛像がよいと思ひました……』と流暢な日本語、年はまだ卅二三の貴公子風の人、スラ／＼と名刺に署名された筆跡は寫眞の通り

◻皇后陛下行啓

學習院女子部卒業式へ

皇后陛下には二日午前九時二十分宮城御出門學習院女子部卒業式に臨ませられたり之れより先同院大迫院長松本女學部長以下各職員德川公波多野宮內大臣花房子爵等は門內に整列し行啓を待ち奉れば陛下には程なく御馬車にて御著諸員奉迎裡に便殿に入らせられ御先著の閑院宮妃伏見若宮妃久邇宮妃殿下に御對顏次で參集の諸員に拜謁仰付られ終つて院長の御先導にて式場に臨ませらるゝや院長は中等科三年御修了の山階宮安子女王梨本宮方子女王久邇宮良子女王の各殿下に證書を御授與申し上げ次で中學科專習科の卒業生に對して卒業證書を授與し終つて院長の式辭宮內大臣の告辭あり專習科總代三井やす子は陛下の御前に進み恭しく謝辭を朗讀し最後に一同起立し君が代を合唱し右終りて陛下には院長の御先導にて生徒作品陳列場に臨ませられ裁縫編物刺繡等御巡覽の後便殿に入らせられ御少憩後恩賜品を大森大夫を經て各科優等生に御傳達遊ばされ同十一時卅分還啓あらせられたり（東京特電）

◉馮副總統火災に罹る

南京來電に依れば馮副總統は一日夕刻火災に罹り家財の大部分を燒失したりと（大阪特電）

◉出刄を揮って左官二名を斬る

二名は絕命＝酒の上の喧嘩から

一日午前三時頃京釜線龜浦料理店龜鶴樓にて內地人左官三名斬殺されたる椿事あり加害者は同地料理店筑前屋の板場福岡縣朝倉郡馬田村字下浦堀內龜太郎（二〇）及び同地料理店板場通稱政一事春永守（二一）の兩名にて被害者は龜浦鈴木商會纖維興業所の工場建築に雇はれ居れる左官熊本縣宇土郡生れ山村重吉（三〇）及び神奈川縣橘樹郡市生れ鈴木吉五郎（二八）同縣橘樹郡日吉村生れ藤田與吉（三九）の三名なるが原因は十數日前被害者の一人なる藤田與吉が筑前屋にて三十六錢の酒肴にて飲食したる際加害者龜太郎政一の兩名と

▲些細のこと　より口論を始め與吉は兩名の爲に袋叩きにせられ戶外に逐ひ出されたることあり以來互ひに睨み合の姿なりしを仲裁するものありて去る卅一日の夜一同は料理店岡田屋にて仲直りの酒を酌交したるに互ひに醉ふに連れ又々口論を始め掴み合の末今度は加害者の爲め散々毆打せられ頭部に負傷したるも相手は三人なるより素手にては叶はじと筑前屋に戾りて出刄庖丁を懷にし岡田屋に取つて返したるに形勢容易ならずと居合したる親方の大久保某は

▲双方を說き　一先づ其場を納め更めて兇行の場所たる龜鶴樓に於て飲み直すこととし被害者三名は先に同樓に赴き居たる處へ加害者龜太郎政一の兩名入り來りしに被害者三名は龜太郎が兇器を持ち居るを認めとせし際出刄庖丁が現はれしかば其不都合を詰りしに又もや大喧嘩となり入亂れて格鬪を演じたるが龜太郎は右の出刄庖丁を以て最初に重吉の左胸頸脈を切斷して卽死せしめ續いて吉五郎の後頭部に斬り付けて重傷を負はせ更らに返す刄にて與吉の頭部を斬り付けたるも其時は既に

▲刄先が曲り　居たる爲め輕傷を負はせたるが重傷の吉五郎は正午頃絕命せりと此急報に接したる釜山地方法院よりは高木檢事正、田檢事、高木通譯生、書記、朱雀警察署東萊署より村橋巡査部長以下官出張實地檢證を爲したるが一方同地駐在所巡査は兇報に接したるより直に現場に赴き加害者政一は其場に於て逮捕せられたるも龜太郎の姿見えざるより搜索中兇行場の隣室に打臥し熟睡せるを後に至りて發見し苦もなく取押へたるが龜太郎は從來素行惡しく些細のことにも出刄を揮り廻すこと度々ありしと（釜山）

◉株式に失敗して八萬圓を詐取す

佐賀縣神埼郡神埼町船塚六は株式に手を出し失敗したる爲め鄕里の銀行より八萬餘圓を詐取し一日大阪に來りたるが直ちに捕縛せられたり（大阪特電）

◉弟に家を燒かれて縊死す

大阪府下南河內郡川上村塚本藤市は兄虎造と喧嘩したる末其の家に放火し虎造親子三名は山中に入り縊死したり（大阪特電）

◉客に化けて強盜に入る

犯人は露西亞人

三月二十九日朝浦鹽セメノフスカヤ街皮革商木下商店に客に化けたる露西亞人強盜押し入り一萬二千留を強奪して逃走せり（大阪特電）

◉漁夫二十七名行衛不明となる

濟州島沖合の椿事＝母船漂着す

島根縣周吉郡三段田村生れ多田政吉は自己所有の石油發動汽船三福丸を母船とし外多數の漁夫を伴ひ三月十六日根據地を出帆し鯛漁の爲め同月十八日朝鮮濟州島の

◆東南二十里　餘の沖合に於て九隻の小型漁船に二十七名の漁夫を分乘せしめ一齊に操業中俄かに暴風に襲はれ潮流の爲め漁船全部押流されて行衛不明となり母船なる三福丸は發動機に故障を生じて運轉不可能となりて漂流しつゝ辛くも濟州島に漂着し母船乘組員は幸に

◆無事なるを　得しが流失したる九隻の漁船及び漁具の損害は合計四百四十圓位にして行衛不明となりし二十七名は主として德島縣の者なるが其口際及び長崎縣生れの者も幾分ありし其の姓名左の如し

多田政太郎（四六）岡竹次（一六）岡田三郎（一九）[illegible]

◆嬉しい入學式

―二日の京城中學―むつかしい入學試驗も無事通過して今日から中學の一年生となつた新入學生は二日の午前八時から續々と京城中學校の門に集まる[illegible]

…お父さんの悦び！お母さんの悦び！嬉しい／＼入…

◆高女と小學校に

朝鮮語科

京城學校組合にては豫て京畿道長官に認可申請中なりし京城高等女學校及び各高等小學校生徒に對し新學年より隨意科として朝鮮語を課するの件は三月三十一日附を以て認可ありたるを以て愈々本學年より高等女學校は第二學年より高等小學校は一學年より隨意科として鮮語を課する事となれり

◉大觀亭大宴會

長谷川町大觀亭の大宴會は一日の午後五時半より亭內に於て開催、龍山軍司令部、陸軍倉庫、病院の催しで今回陸軍省經理局に榮轉した佐藤軍醫監、並びに龍山倉庫長より陸軍省經理局に榮轉した飯塚主計正、同く東京經理部に榮轉した軍司令部附吉賀主計を招待したのであつた、來賓は總て軍人側の人々が多く餘興には浪花節などが澤山あり軍隊式の大盛會で了つた

◉面事務所に放火

京畿道江華郡河站面食後里韓次男（三〇）は本年一月五日夜同面事務所小使室の裏手藁屋根に放火し其の混雜中に紛れ込み面事務所の公金を竊取せんと企て放火したるも間もなく消止められて目的を達せざりしが同人は此程擧せられ放火罪として京城地方法院の公判に附せられたり

◉成田校長轉地　京城高等女學校長成田忠良氏は永らく神經衰弱にて臥蓐中此程より登校したるが更に靜養のため三日朝出發伊府に轉地すべし

◉僞造文券を種に金を騙取す

住所不定の李鳳朝（三五）は前科二犯の曲者なるが昨年十二月五日京城より水原へ赴く途中水原郡日荆面九雲里の李喜模の弟某と道伴れとなりて同人方に赴き宿泊したる際同里李容敎なる者が喜模の土地一町二反餘を擔保として六十圓の借金をなしたるより其の損害を容敎に賠償せしめんと協議中を聞き込み自身が全部引受けて賠償せしむべしと欺き件の文券及び喜模の印章を預り直ちに京城に舞ひ戾り容敎に對する仕拂請求訴訟を裁判所に提起すると稱し其の費用名義に喜模より十二圓騙取したる後土地抵當權設定證明申請書及び借用證書の文書二通を僞造して喜模の印章を押捺し水原支廳登記係より證明を受け之を擔保として京城吉野町一丁目津田丑五郎より借金名義にて金百圓を騙取したること發覺して鳳朝は此程鍾路警察署に捕へられ取調べの上檢事局へ送られたり

◉鹽酸を呑んで

獨身者の自殺

二日午前六時頃京城義州通一丁目居住の內地人が自殺を企て苦悶中を附近の鮮人が發見したるが急報に接し本町警察署より係官警察醫出張取調べの結果佐賀縣杵島郡佐留志村生れの鑛力職工川崎常作（四八）といひ一週間前よりマラリヤに冒され獨身者のこととて忽ち苦境に陷り世を悲觀した末二日午前四時頃職業用の鹽酸を多量に服用して覺悟の自殺を企てたるものと判明し應急手當を加へたるより生命には多分異狀なかるべく引取人なき爲め行旅病者として京城府廳へ引渡せり

えんげい

◉壽座　曾我廼家蝶五郎一座の喜劇にて開演中なるが三日よりの替り狂言は喜劇外二場、地藝四場、亂れ咲き三場、實相手二場にて連夜大入の由

◉御成座　新派劇にて三日夜の出し物は一番目友、二番目燒かず稻二場なり

◉浪花館　東京大阪落語與三郎一座にて引つゞき開演中

◉壽館　女浪花節京山愛子一座にて三日より開演の筈にて同人は小奈良と共に女浪花節にて…居る者の由餘興として八十五歲の老優出演する由

◉大正館　活劇快漢ロロー並びに滑稽劇佐々成政の傳、新派衣が浦の仇浪にて三日は祭日のため晝夜二回開館すべし

◉有樂館　お伽活動喇叭太郎、活劇ブラツク隊長、新派劇若き女の半生にて三日は晝夜二回開館すべし

京日案內

普通一回金五十錢（一行廿字詰）　番外一回金一圓（四行）

◉事務員入用　南大門通三丁目青木堂前　電話二一九七　森代書事務所　799

◉自轉車月賦販賣に應ず　京城黃金町二丁目角　イバラキ商店　電話一九二七

◉賣貸　經便活動寫眞器械オキシパナメター以上委細面談　壽町三山崎　785

女事務員入用　高等小學校卒業程度年齡廿歲迄本人自筆履歷書郵送當店より回答す　太平通一　初田活版所　786

◉十四歲以上十八歲迄の店員數名募集　但尋常小學校卒業保證人あるもの　本町二丁目　日韓書房　788

男女外交員募集　月收多大希望者來談あれ副業適　京城明治町二ノ四　八宮川商町　大日本信託取扱所　789

◉謠通詩御報告の御方へ無料送遞　京城大和町三ノ三二（泥洋前）　忍木堂　790

◉古本買入　▲御報參上　是非御試買を乞ふ　▲本町二　▲書畔書堂　電話二四八四番へ　792

◉看護婦二名入用　希望の者は書携帶來談あれ　仁川　小倉病院　798

南山町二丁目三五番地に下宿料理屋に最も適當の貸家讓たし（姓名任社）　794

◉有給女事務員入用　要す自筆履歷書携帶來談あれ　長谷川町　鮮滿工業社　798

◉中古自用人力車讓り渡し照會は　京畿道龍仁郡金良場　木村泰雄　793

◉看護婦及見習看護婦數名入用　志望者は本人來院の事　仁川　佐藤病院　780

▼看護婦至急入用　希望者面談　長谷川町四七　シメノウチ齒科醫院　782

▼店員一名至急入用　確實なる保證人を要す　京城旭町一　川西食料品店　783

▼各學校用古敎科書と參考書　此際高價買受　電二五二七　本町　ウツボヤ書店　692

番外

有給外務社員採用　毎日午前中履歷書持參の方面談す　永樂町二丁目　生命保險株式會社　八千代

貸座敷向貸家二棟　御希望の方は來談あれ便宜御相談に應ず　龍山彌生町　電一五一番　湯川多吉　796

恩給年金立替　低利長期即時　短期無保險　京城南大門外　御成町　西鮮支店　京義線沙里院　寶川商店　山口屋　791

恩給年金最長期　低利即時　金額取引並金錢兩替　利子前引なし　京城永樂町一丁目　郵便局前下角　商品陳列　江州屋　本店　781

店員入用　十三以上十六歲迄の者五名　本年學校卒業の者　健康にして保證人を要す　京城市內に在住　履歷書携帶來談あれ　電三九五　出入羅紗商　南大門通二　睦商會　784

藥學生募集　短期速成　夜間教授　四月五日新學期開始希望者は黃金町三丁目藥店梅崎政雄方へ申込あれ　長橋通長薰學校內朝鮮藥學講習所　774

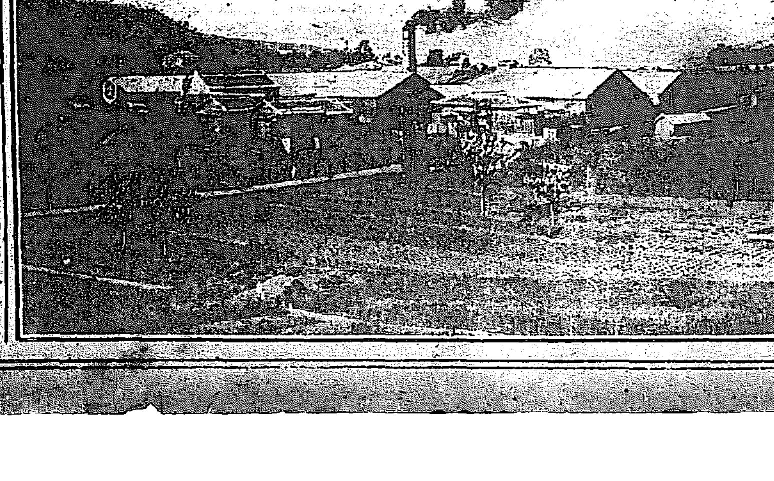
紀念植樹　櫻、楓、眞柏、アカシヤ、桐　其他各種苗安價販賣仕候　京城植物園　電話一二四五番　773

◎礦物定量分析　太平町二丁目　朝鮮公論社左横小路　坂元分析所　電話長二三五四四　760

移轉　▲山田流琴曲敎授　園田松葉　京城本町二丁目釘本金物店前横町右側一軒目　779

外科　一般花柳病科
內科　一般皮膚病科
普通及隔離病室完備　診察夜九時迄
島崎病院　京城旭町一丁目（本通り左に入る）　電話二七三六番

醬油味噌界の霸王
キツコーウリー醬油　ほまれ味噌　釀造元
（仁川港。日本醬油株式會社工場經營）



小兒科專門　中谷醫院　京城大和町三丁目ばんざい門下　電話一〇三三番

旅行用具一切
◆鞄製造（お好みにより如何樣にも調製可仕候）
◆柳製專賣品トランク
◆洋傘（本年流行新荷著）各種
●其他雨具ゴム引マント魔法瓶及中瓶取替
京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番

▶月刊商報御一報次第送呈◀
夏物品揃
帽子各種　シヤツ各種
手袋靴下　猿股半月
和洋手拭　洋傘和傘
石鹸化粧品　曹達煙草
櫻ビール　三矢サイダー
其他內外雜貨一式
釜山大廳町一丁目　明治屋本店
▶振替京城一〇七番電話三四八番◀

廣告
清酒本火賣出し　來る四月一日より
拜啓陽春之候各位愈々御隆昌之段慶賀の至りに奉存候却說一月以來古酒賣切致し御得意各位に對し一方ならざる御迷惑相掛け何共申譯之無候處本年度釀造酒も最早本火として遜色なきに至り候就ては今後一層勉强御高評に應じ可申候間舊倍の御愛顧御引立相願度此段廣告仕候也
大正六年三月
清酒　天振　平生　雙喜正宗　榮菊
釀造元　發賣元　吉金商店

怒濤の月

小林蹴月作　武內桂舟畫

百二十五

焔の輝き『廿四』の二

空に反映つた焔の輝きは、時の經つに連れて、段々と薄らいで來た。四邊は川霧にでも包まれたかのやうに、暗くそして濕つた。遙か十二階の頂上に瞬いて居る電燈の光りが、星の眼玉のやうにぎら／＼と搖いた太郎稻荷の社に鳴く梟の聲が、夜の世界を叱り付けるやうに凄く[illegible]た見渡す田の面は、霜に白く、闇を吹く夜風は、鋒を刺すやうに冷たい。

『殘酷だわね、阿兄さんは。妾が是ほどに物を言つてるのに、何の返事も呉て下さらないんだもの。まッ、厭だわ、彼の美しい空の雲が段々遠くの方へ……あら、淋しい事ねえ。阿兄さんの影も何處かへ一緒に消えて了つたわ。』

絹代は、雫の珠を奪はれたやうな顏して、少時熟と西の空を凝視むるのみであたつが、果は腸折るゝやうに畔の片端へ坐つて、潸々と泣き沈んだ。

『絹代さん、泣くもんぢやありません。泣いたつて仕方がないから、此方へ入つしやい……。』

誰とは知らず、細い哀れな女の聲で、絹代の耳元に囁やいだ者があつた。

『貴女は誰ッ？』と、絹代は我知らず泣顏を擡げた。

『誰でもないんです。まあ、此方へ入つしやいよ。』と、聲の主は言つたけれども、その邊りに人らしい影も形もなかつた。

『誰だか言つて下さいよ。でなければ、妾、行く事は出來ません。』と、絹代は、聲を強めて、問ひ反した。

『まあ、そんな事言ふもんぢやありません。入つしやいと言つたら入つしやい。』

顏も容も何にも見えて居ないのにも拘はらず、何者かゞ絹代の手を把つて、引張つて歩き出すやうに思はれたのである。絹代は、自然にその形なき者に導かれて、ふわ／＼と蝶のやうに歩いた。地を歩いて居るのか、宙を踏まつて行くのかも分らなかつた。半時間過ぎたか、一時間過ぎたか分らなかつた。

倏ちにして、暗い〳〵青海原が眼下に見え出して來た。空には一輪のおぼろ月が、茫乎と淡黃色の光を放つて居る。千年も經つたかと思はるゝやうな松の老樹が、崖の上に何本となく茂つて居た。何處かで、鉦と鼓をちやんぽんに鳴らすやうな響きが時に急に時にゆるやかに聞えた。絹代は、何とも堪らなく好い心地になつたのである。不圖脚下を瞰下すと、何丈ともないヒツ削いだやうな絕壁の所に、虎のやうな獅子のやうな乃至は白い駒の勇め立つたやうな巨巖怪石が、寄せ返す怒濤と鬪つては、凄まじき哮りと共に、咬みつ囓まれつ爲て居た。

『妾、初めて來たわね。品川の海よりも外に見た事もないのに、什うしてまあこんな好い景色の海岸が東京の近くにあつたんだらう。』

絹代は、人間の一切を忘れて、岩角の所に腰を預けたなり、暫時海上の變化に氣を奪はれて居たのであると、形なき女の聲が、又しても絹代の耳元に囁いた。

『面白いでせう絹代さん、此の大海の荒波の底には、龍宮と云ふそれは／＼美しい立派な御殿があるのよ。妾は今、其處に棲つて樂しく遊んで居るのよ。其處へ貴女を連れてッて上げやうと思つて、此處まで一緒に來たのよ。どうせね、貴女と妾との運命は、歸する所同一なんですから、こんな自由にならない人間界の事は、綺麗に斷念めて了つて、龍宮の御殿へ行つてから、姉となり妹となつて、仲好く暮らさうではありませんか……ね絹代さん、それが好いでせう。』

『然うですか。貴女も矢張妾と同じ運命の方なんですか。仰有る通り、こんな自由にならない人間界に長く居たつて詰りませんわね。では後生ですから、一緒にその龍宮とやらへ連れて行つて頂戴な。』

『さあ、連れて行つて上げますから堅く眼を瞑つてらつしやいよ。』

絹代は、言はるゝが儘に眼を瞑つて、岩角の所に起ち上つた。と、その途端！絹代が弱腰の邊りを背後からどんと烈しく突き飛ばした者がある。あれッと瞬を潤して、振返る間もあるやなし、その身は逆筋斗を打つて、幾十丈の絕壁から荒れ狂ふ怒濤の底ッ只中へ落ち込んで了つた。

□西洋樂器の獨り舞臺

あらゆる西洋樂器は歐洲戰爭以來獨逸や米國から輸入が絕ねてしまひ殆ど國產の獨舞臺になりました中にも

◇ピアノ　は外國品を凌ぐ程の優良なものが出來るやうになり今では支那南洋を始め遠く西歐まで輸出されるやうになりました立形一臺三百圓以上、八百圓まで平形は七百二十圓以上二千圓まで、オルガンも亦殆んど國產ばかりで廿二圓以上三百八十圓といふ相場です

◇ヴァイオリン　は從來は獨逸から英國や米國へ賣込まれたが今では日本品が此等の外國へ輸出される位であるから內地では勿論日本品を用ひる事は定つて居る一挺三圓以上百二十圓

◇ハーモニカ　は日本では小學生抔に喜ばれて居るが近頃英國へ盛に輸出される英國では戰線に立つて居る英國兵へ慰問品に贈るのである一挺五十五錢以上八十錢見當です（東京）

□米國媾連の大權幕

米國は今度の戰爭でどつさり金貨を背負ひ込んだから其金の始末に困つて挑戰するだと獨紙は愚痴つて居るが其金は皆富豪の懷に入つたと見えて紐育でも桑港でも食料暴動が起りさうな形勢である現に先月廿一日紐育下層社會の婦連が示威行列を造つて目拔の通りを練り歩いて市廳舍の門前に押寄せて行つた市長が代表者三名に會見すると何とか分別をして貰はねばならぬ[illegible]この儘見[illegible]目が濟むと思はつしやるか[illegible]恐ろしい權幕であるから[illegible]困[illegible]は能く承知して居る[illegible]の食料を購入し原價で分ける手筈になつて居る[illegible]ゝ相手を[illegible]させたさうだ

新刊紹介

▲京城工業專門學校一覽

▲工學（三月號）[illegible]
▲鄕樂（三月號）[illegible]
▲東洋時報（三月號）[illegible]
▲寫眞タイムス（三月號）[illegible]
▲金星（三月號）社會政策の實事的價値[illegible]
▲生活の力（六五）一錢東京市京橋區木挽町六の一〇共社
▲平民醫學（七）二錢東京市京橋區木挽町六の一〇生活社
▲名古屋商業會議所月報（二月號）非賣品名古屋商業會議所
▲家庭のローマ字（四月號）五錢東京市麴町區有樂町一の三ローマ字ひろめ會
▲婦人週報（三の一三）四錢五厘東京市牛込區市ヶ谷田町二ノ一七共社
▲フースヒー（三五）五錢東京府下澁谷町一二三共社
▲極東時報（一九）十八錢東京市京橋區[illegible]
▲養鷄指針（三月號）九錢大阪市[illegible]
▲商業美術時報（十六）大阪市[illegible]
▲ペニヒ（二）[illegible]
▲株式世界（二の二七）十錢東京市下谷區[illegible]同好會出版部
▲小學生（四月號）八錢[illegible]
▲かごしま（第七號）[illegible]
▲電氣新聞（二四）五錢東京市麴町區有樂町一の三共社
▲日本移民協會講演講習所概要[illegible]
▲佛教研究（二八）五錢東京市小石川區林町二〇共會
▲朝鮮基督敎時報（一九）五錢京城府[illegible]
▲電氣旬報（九五）五錢大阪市東區[illegible]二共社
▲英語の日本（一〇の六）十二錢東京市神田區表神保町三建文館
▲隨鶴集（三月號）二十五錢東京府下千駄ヶ谷五二四共社
▲創作月報（三月號）非賣品東京市小石川區[illegible]
▲大阪仕入案內（三月號）十五錢大阪市西區阿波座[illegible]
▲園藝[illegible]の栞（三月號）二十錢東京市麻布區[illegible]
▲大阪朝鮮貿易商報（一四九）五錢大阪市西區北堀江裏通一の四社
▲日本印刷界（八九）廿七錢大阪東區南本町二[illegible]

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ...... ¥ 1.25
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ...... ¥ 1.20

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

◎肝油ドロップス

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり△
▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

河合龜太郎氏創製

本邦及英米國政府 專賣特許

滋養強壯料 肝油ドロップス

◎肝油ドロップス　肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり
◎複方肝油ドロップス　肝油の含量を半減して、有機鐵、有機燐及び石灰、規那等を含有せしむ

（現品縮寫圖）

肝油含量一顆一グラム　一日二回乃至三回服用
五歳以下　一回一顆又は二顆
十歳以下　一回二顆乃至四顆
十五歳以下　一回三顆乃至六顆
大人　一回八顆乃至十五顆

用法　一般菓子の如く食すべし、又は湯又は冷水に溶かし[illegible]服するも妨げなし

五十顆入　一壜定價七十錢
百二十顆入　一壜　一圓廿五錢
複方百顆入　一壜　一圓廿錢

肝油は一般の虛弱者、腺病者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對して、治療上缺くべからざる滋養劑として、內科、眼科、小兒科等の諸家に處方せられ、卓効を奏するは、世上周知の定論なり。然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに倣ひて、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、之に精製純良の肝油を正確に含有し、乳化完全にして、分析極めて綿密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す。本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、攜帶の不便、腐敗の迅速なる等の缺點なく、好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異なる事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし
一、顏の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が惡くザラ〳〵してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱々しく感冒に罹り易い人
一、[illegible]目立て痩せてゐる人
一、手足が冷えて寢られぬといふやうな纖弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が痩け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顏や手先きを滑こくし度い人
一、產前產後の滋養を計らうとする人

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし
一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、發育不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病（瘰癧）に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器神經衰弱に罹れる人
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▲賣捌＝全國到る處の藥舖、洋酒食料品店、化粧品店、小間物店▼

本舖　ミツワ石鹸　ミツワ家庭藥　規那鐵葡萄酒　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　◎（登錄商號）　東京市日本橋區橘町四丁目　藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋　丸見屋商店

電信略號〇ミヤ……振替口座東京七一〇番　營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

汽船仁川出帆

青島直行　大福山丸　四月十三日出帆

積荷は左記取次店へ御申込被下度候　但し船客並に米穀御斷り

申込取次店
仁川海岸町　三井物產株式會社出張所
仁川海岸町　堀商會回漕部
仁川本町一丁目　浦崎回漕部
仁川本町三丁目　野口商會

大阪商船仁川出帆

○外航勢所屬航路（[illegible]）船の時は五分引を以て運賃引替發仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戶行	×天智丸	四月九日	
	×信濃川丸	四月十二日	後五時出帆
	△須磨丸	四月七日	
◎木浦、釜山、關門、神戶、大阪行	×汕頭丸	四月　日	正午出帆
○木浦、釜山、嚴原、鷄の浜、長崎行	安東丸	四月十四日	
	×安東丸	五月二日	後二時出帆
○群山、釜山、横濱行	廣州丸	四月十五日	
	×潮州丸	四月七日	後二時出帆
○鎭南浦、大連行	×安東丸	四月九日	
	×安東丸	四月廿七日	後二時出帆
○大連直航	×廣州丸	四月九日	
	△潮州丸	四月廿六日	正午出帆
○淸津、浦鹽行（元山出帆）△城津、西湖津、三寄港、浦潮不寄港	安平丸	四月四日	
	▲宮島丸	四月十一日	後十二時出
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）	香港丸	四月十五日	前六時出帆
	基隆丸	五月三日	後四時出帆

御注意　[illegible]

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二番、二二〇番、五五八番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五二番、二三一番　[illegible]　京城府大門通　松原運送店（電話長一七〇番）

○江原丸		四月十二日	釜山發
○京畿丸		四月十五日	
○黃海丸		四月十日	
○咸鏡丸	門司より釜山各港寄港雄基間航路	四月十日	
○穩城丸		四月　日	元山發
○昌平丸		四月　日	
○鏡城丸	元山より各港經由雄基行	四月　日	
○昌平丸	東海岸各港長崎行	四月　日	元山發
○江陵丸	廿浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行	四月四日	釜山發
○襄陽丸	長生浦方魚津寄港	毎日	釜山浦項發
○三浦丸	長承浦、統營、巨文島、濟州島各寄港	四月　日	釜山發
○海州丸、○統營丸	各港經由鎭木行	毎日	釜山發
○平壤丸、○忠淸丸、○巨濟丸、○慶尙丸	城津浦鹽行	四月六日、十二日	元山發
○順天丸	各港經由麗水行	三日目毎ニ	木浦發
○慶興丸	各港經由濟州島行	四月　日	木浦發
○慶興丸	南多島海列島行	四月三日	木浦發
○公州丸	各港經由濟州島行	四月　日	木浦發
○江原丸	芝罘、大連、靑島行	三月　日	仁川發
○晋州丸、○麗水丸	各港經由木浦行	四月二日	仁川發
○宗信丸	海州他各港經由鎭南浦行	四月二日	仁川發
○全州丸、○南陽丸	江華島橋島、桐島、海州行	毎日午前	仁川發

商況　大阪三品相電　下關期米相電　仁川期米　▲期近頭重し　[illegible]